

平成 17 年国勢調査

従 業 地・通 学 地 集 計 結 果

～ 名 古 屋 の 昼 間 人 口 ～

I-1 名古屋市の昼間人口は 252 万人、昼夜間人口比率は前回に引き続き低下

平成 17 年 10 月 1 日現在の本市の昼間人口は 2,516,196 人で、常住人口 2,193,973 人に対し、市外への流出が 194,570 人、市外からの流入が 516,793 人で、流入超過が 322,223 人となっている。

前回（平成 12 年）の昼間人口(2,514,549 人)と比べると、1,647 人の増加（前回比 0.1%）となった。その内訳をみると、常住人口は 45,024 人増加したのに対し、流出口が 13,426 人増加、流入人口も 29,951 人減少したことにより、流入超過数が 43,377 人の減少となり、増加分がほぼ相殺された形になっている。

また、昼夜間人口比率も、前回の 117.0 から 114.7 へと 2 回連続で低下した。 [付表 1-1、付表 1-2、図 1-1]

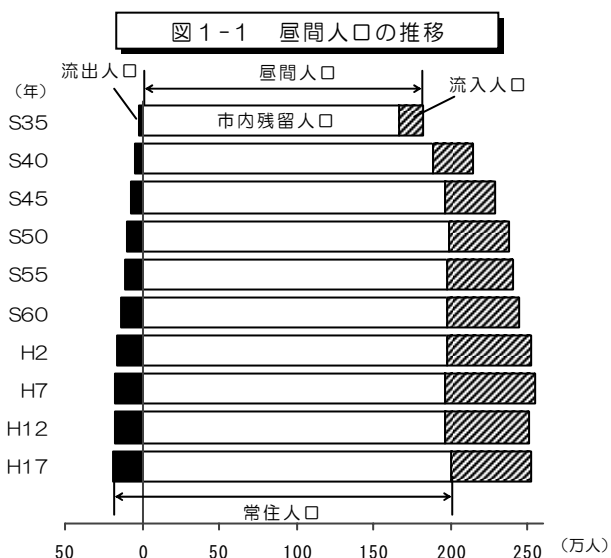
付表 1-1 常住人口、昼間人口の推移（昭和 35 年～平成 17 年）

各年 10 月 1 日

年 別	常 住 人 口	市 外 へ の 流 出 人 口	市 外 か ら の 流 入 人 口	流 入 超 過 数	昼 間 人 口	昼 夜 間 人 口 比 率	常 住 人 口 100 人 当 た り	
							流 出 人 口	流 入 人 口
昭 和 35 年	1,697,093	25,042	149,629	124,587	1,821,680	107.3	1.5	8.8
40 年	1,935,430	46,919	256,342	209,423	2,144,853	110.8	2.4	13.2
45 年	2,036,053	76,099	330,835	254,736	2,290,789	112.5	3.7	16.2
50 年	2,079,740	95,254	393,084	297,830	2,377,570	114.3	4.6	18.9
55 年	2,086,762	115,665	429,494	313,829	2,400,591	115.0	5.5	20.6
60 年	2,113,845	135,673	460,623	324,950	2,438,795	115.4	6.4	21.8
平成 2 年	2,146,948	163,562	536,305	372,743	2,519,691	117.4	7.6	25.0
7 年	2,144,334	175,072	574,219	399,147	2,543,481	118.6	8.2	26.8
12 年	2,148,949	181,144	546,744	365,600	2,514,549	117.0	8.4	25.4
17 年	2,193,973	194,570	516,793	322,223	2,516,196	114.7	8.9	23.6

注 1) 昭和 55 年以降の常住人口及び昼間人口には、年齢不詳を含まない。

注 2) 昭和 35 年、40 年の市外への流出口、市外からの流入人口は 15 歳以上人口のみである。



付表 1-2 常住人口、昼間人口の増加数、増加率

年 別	常 住 人 口	流 出 人 口	流 入 人 口	流 入 超 過 数	昼 間 人 口
増加数					
35～40 年	238,337	21,877	106,713	84,836	323,173
40～45 年	100,623	29,180	74,493	45,313	145,936
45～50 年	43,687	19,155	62,249	43,094	86,781
50～55 年	7,022	20,411	36,410	15,999	23,021
55～60 年	27,083	20,008	31,129	11,121	38,204
60～2 年	33,103	27,889	75,682	47,793	80,896
2～7 年	-2,614	11,510	37,914	26,404	23,790
7～12 年	4,615	6,072	-27,475	-33,547	-28,932
12～17 年	45,024	13,426	-29,951	-43,377	1,647
増加率(%)					
35～40 年	14.0	87.4	71.3	68.1	17.7
40～45 年	5.2	62.2	29.1	21.6	6.8
45～50 年	2.1	25.2	18.8	16.9	3.8
50～55 年	0.3	21.4	9.3	5.4	1.0
55～60 年	1.3	17.3	7.2	3.5	1.6
60～2 年	1.6	20.6	16.4	14.7	3.3
2～7 年	-0.1	7.0	7.1	7.1	0.9
7～12 年	0.2	3.5	-4.8	-8.4	-1.1
12～17 年	2.1	7.4	-5.5	-11.9	0.1

I-2 20～29歳の昼夜間人口比率は前回比5ポイント以上の低下

年齢階級別に昼夜間人口比率をみると、20～24歳が130.2で最も高く、続いて15～19歳の130.1、25～29歳の126.4となっており、特に若年層で流入超過幅が大きくなっていることがわかる。 [付表1-3]

昼夜間人口比率について前回（平成12年）と比較すると、59歳までの各階級では、15～19歳については前回は上回ったものの、それ以外の階級では全て前回の比率を下回った。特に20～29歳については、前回より5ポイント以上の低下となっている。さらに男女別にみると、男性については、20～59歳にかけてのすべての階級で前回は下回った。一方女性については、20～29歳までの階級では低下したものの、30～69歳にかけての階級では、45～49歳を除く全ての階級で前回は上回った。

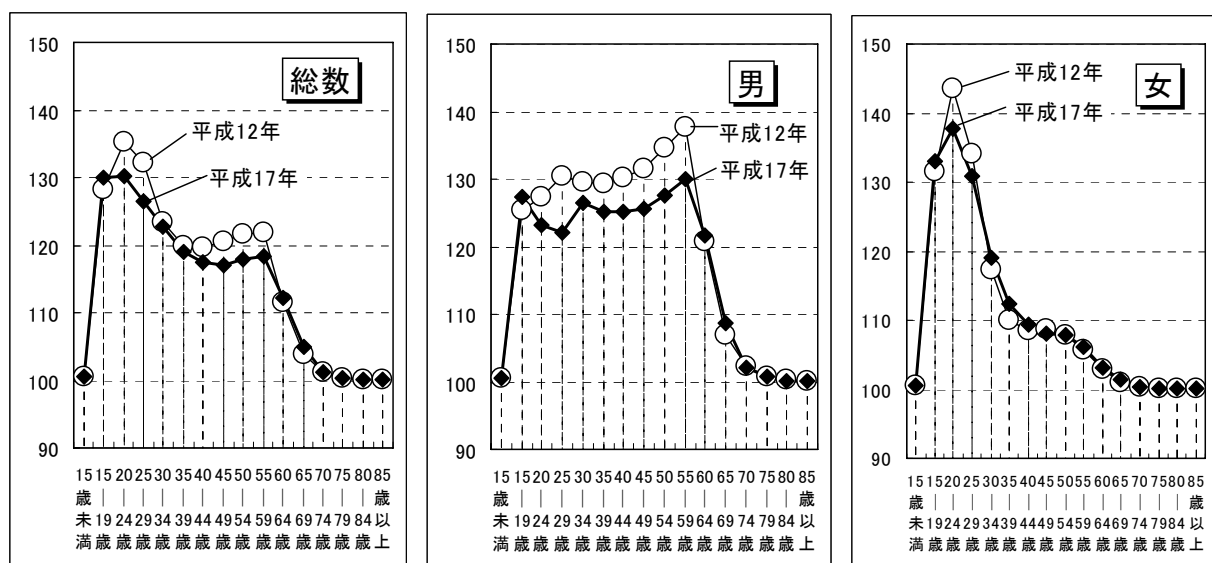
男女の昼夜間人口比率の年齢階級別の推移をみると、男性では25～59歳にかけて昼間人口比率がゆるやかな上昇傾向を示しているのに対し、女性では20～24歳をピークとして40～44歳までは急激な低下を示しており、昼夜間の年齢構成に大きな差があることがわかる。 [付表1-3、図1-2]

付表1-3 年齢5歳階級別、総数・男女別常住人口、昼間人口

各年10月1日

	平成12年									平成17年								
	常住人口			昼間人口			昼夜間人口比率			常住人口			昼間人口			昼夜間人口比率		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	2,148,949	1,065,172	1,083,777	2,514,549	1,300,756	1,213,793	117.0	122.1	112.0	2,193,973	1,086,311	1,107,662	2,516,196	1,287,393	1,228,803	114.7	118.5	110.9
15歳未満	303,272	154,781	148,491	304,976	155,573	149,403	100.6	100.5	100.6	293,405	149,910	143,495	295,132	150,737	144,395	100.6	100.6	100.6
15～19歳	122,815	63,300	59,515	157,621	79,361	78,260	128.3	125.4	131.5	110,304	56,655	53,649	143,496	72,142	71,354	130.1	127.3	133.0
20～24歳	156,452	80,452	76,000	211,639	102,523	109,116	135.3	127.4	143.6	141,041	72,875	68,166	183,613	89,720	93,893	130.2	123.1	137.7
25～29歳	184,662	94,006	90,656	244,019	122,539	121,480	132.1	130.4	134.0	156,086	79,695	76,391	197,253	97,321	99,932	126.4	122.1	130.8
30～34歳	165,935	84,718	81,217	204,867	109,677	95,190	123.5	129.5	117.2	184,681	93,872	90,809	226,855	118,674	108,181	122.8	126.4	119.1
35～39歳	149,732	76,255	73,477	179,399	98,622	80,777	119.8	129.3	109.9	165,447	84,700	80,747	196,791	106,045	90,746	118.9	125.2	112.4
40～44歳	129,753	66,311	63,442	155,136	86,371	68,765	119.6	130.3	108.4	149,948	76,584	73,364	176,064	95,908	80,156	117.4	125.2	109.3
45～49歳	139,435	71,526	67,909	168,017	94,125	73,892	120.5	131.6	108.8	129,564	66,379	63,185	151,666	83,387	68,279	117.1	125.6	108.1
50～54歳	174,428	89,113	85,315	212,037	120,055	91,982	121.6	134.7	107.8	138,293	70,808	67,485	163,154	90,362	72,792	118.0	127.6	107.9
55～59歳	151,832	76,425	75,407	184,943	105,200	79,743	121.8	137.7	105.8	170,495	86,662	83,833	201,771	112,742	89,029	118.3	130.1	106.2
60～64歳	131,838	63,960	67,878	147,137	77,291	69,846	111.6	120.8	102.9	146,151	72,243	73,908	164,070	87,821	76,249	112.3	121.6	103.2
65～69歳	118,195	56,040	62,155	122,710	59,963	62,747	103.8	107.0	101.0	126,604	60,383	66,221	132,729	65,646	67,083	104.8	108.7	101.3
70～74歳	91,031	41,435	49,596	92,146	42,370	49,776	101.2	102.3	100.4	110,396	50,738	59,658	111,706	51,821	59,885	101.2	102.1	100.4
75～79歳	61,353	24,016	37,337	61,610	24,203	37,407	100.4	100.8	100.2	80,952	35,135	45,817	81,246	35,375	45,871	100.4	100.7	100.1
80～84歳	37,850	13,465	24,385	37,898	13,495	24,403	100.1	100.2	100.1	49,979	18,055	31,924	50,015	18,073	31,942	100.1	100.1	100.1
85歳以上	30,366	9,369	20,997	30,394	9,388	21,006	100.1	100.2	100.0	40,627	11,617	29,010	40,635	11,619	29,016	100.0	100.0	100.0

図1-2 年齢5歳階級別、総数・男女別昼夜間人口比率（平成12年、17年）



Ⅱ-1 区別昼間人口は中区が 324,987 人でトップ

昼間人口を 16 区別にみると、中区の 324,987 人（総数の 12.9%）がトップで、次いで中村区の 234,452 人（同 9.3%）となっている。昼夜間人口比率でも、中区が 494.6 と他の区より突出して多く、中区は常住人口の約 5 倍の人が通勤・通学していることになり、高度な業務機能が集積していることがわかる。以下、中村区 176.3、東区 170.9、熱田区 138.3 と、中心部の区が上位を占めている。

逆に昼夜間人口比率が最も低い区は、緑区の 76.7 で、以下守山区 83.6、名東区 84.2、天白区 86.5 と周辺区が続き、あわせて 8 区において昼夜間人口比率が 100 を下回っている。

前回（平成 12 年）と比べると、昼夜間人口比率が 100 を上回る 8 区では、全ての区で比率が下がっている。なかでも中区は常住人口が増加したこともあり、-62.9 ポイントと大幅に減少している。一方、昼夜間人口比率が 100 を下回る区では、比率が上昇している区と低下している区が同数となっており、1.3 ポイント上昇した緑区が 16 区中最も高くなっている。

[付表 2-1、図 2-1、図 2-2]

図 2-1 区別昼間人口

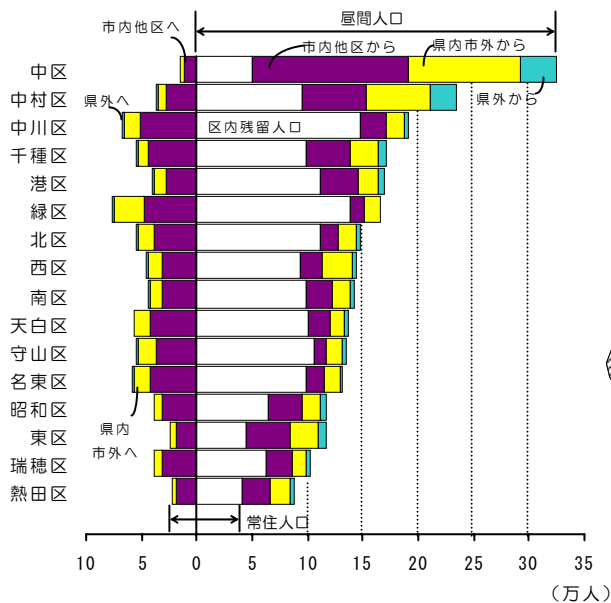
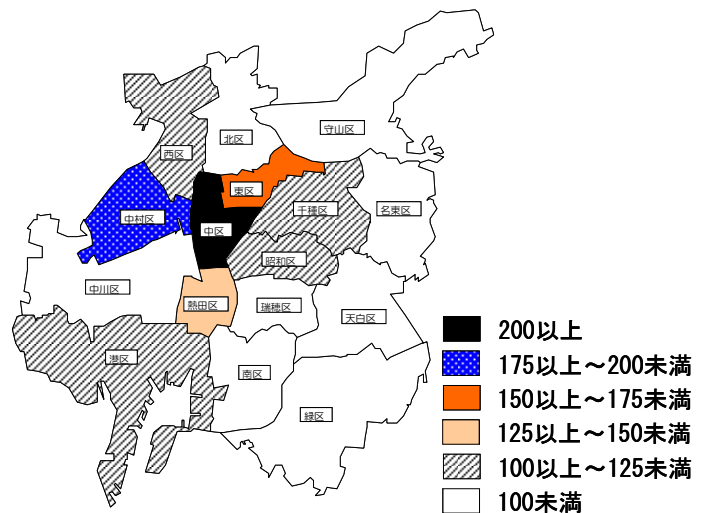


図 2-2 区別昼夜間人口比率



付表 2-1 区別常住人口と昼間人口

付表2-1 区別常住人口と昼間人口

各年10月1日

区 別	平成 12 年				平成 17 年				増 加 数		増 加 率 (%)			
	常 住 人 口	昼 間 人 口	流 入 超 過	昼 夜 間 人口比率	常 住 人 口		昼 間 人 口		流 入 超 過	昼 夜 間 人口比率	常 住 人 口	昼 間 人 口	常 住 人 口	昼 間 人 口
					実 数	構 成 比 (%)	実 数	構 成 比 (%)						
名古屋市中区	2,148,949	2,514,549	365,600	117.0	2,193,973	100.0	2,516,196	100.0	322,223	114.7	45,024	1,647	2.1	0.1
千 種 区	147,390	165,941	18,551	112.6	153,034	7.0	171,004	6.8	17,970	111.7	5,644	5,063	3.8	3.1
東 区	64,957	117,782	52,825	181.3	68,360	3.1	116,861	4.6	48,501	170.9	3,403	-921	5.2	-0.8
北 区	166,324	148,957	-17,367	89.6	165,737	7.6	146,873	5.8	-18,864	88.6	-587	-2,084	-0.4	-1.4
西 区	138,086	148,545	10,459	107.6	137,732	6.3	144,834	5.8	7,102	105.2	-354	-3,711	-0.3	-2.5
中 村 区	134,745	239,614	104,869	177.8	132,974	6.1	234,452	9.3	101,478	176.3	-1,771	-5,162	-1.3	-2.2
中 区	59,409	331,186	271,777	557.5	65,701	3.0	324,987	12.9	259,286	494.6	6,292	-6,199	10.6	-1.9
昭 和 区	104,093	120,629	16,536	115.9	103,621	4.7	117,056	4.7	13,435	113.0	-472	-3,573	-0.5	-3.0
瑞 穂 区	103,257	106,497	3,240	103.1	102,199	4.7	101,695	4.0	-504	99.5	-1,058	-4,802	-1.0	-4.5
熱 田 区	62,063	89,426	27,363	144.1	63,272	2.9	87,531	3.5	24,259	138.3	1,209	-1,895	1.9	-2.1
中 川 区	207,492	188,005	-19,487	90.6	214,809	9.8	191,259	7.6	-23,550	89.0	7,317	3,254	3.5	1.7
港 区	151,317	173,527	22,210	114.7	151,765	6.9	169,422	6.7	17,657	111.6	448	-4,105	0.3	-2.4
南 区	147,658	146,864	-794	99.5	143,158	6.5	141,493	5.6	-1,665	98.8	-4,500	-5,371	-3.0	-3.7
守 山 区	153,617	126,729	-26,888	82.5	161,063	7.3	134,631	5.4	-26,432	83.6	7,446	7,902	4.8	6.2
緑 区	205,510	154,940	-50,570	75.4	216,382	9.9	166,023	6.6	-50,359	76.7	10,872	11,083	5.3	7.2
名 東 区	151,128	125,593	-25,535	83.1	156,475	7.1	131,750	5.2	-24,725	84.2	5,347	6,157	3.5	4.9
天 白 区	151,903	130,314	-21,589	85.8	157,691	7.2	136,325	5.4	-21,366	86.5	5,788	6,011	3.8	4.6

注) 常住人口及び昼間人口には年齢不詳を含まない。

Ⅱ-2 緑区が11,083人増（7.2%増）で増加数、増加率ともにトップ

昼間人口の前回（平成12年）からの増加数が最も大きかったのは、緑区の11,083人増、次いで守山区の7,902人増、名東区の6,157人増であった。増加率においても緑区が7.2%でトップとなり、守山区、名東区と続いている。

また、前回と比べて最も大きく減少したのは、中区の6,199人減、続いて南区の5,371人減であった。減少率で見ると、瑞穂区の-4.5%が最も大きく、続いて南区の-3.7%となる。平成7年から12年に大きく減少した熱田区、東区では、昼間人口の減少率の幅が小さくなっている。また、名東区では昼間人口の増加率が大きく上昇した他、千種区では増加率が減少から増加に転じている。

【付表2-1、図2-3、図2-4】

図2-3 区別昼間人口増加率

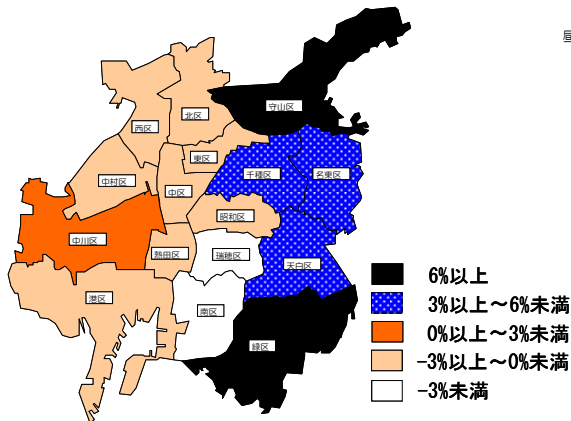
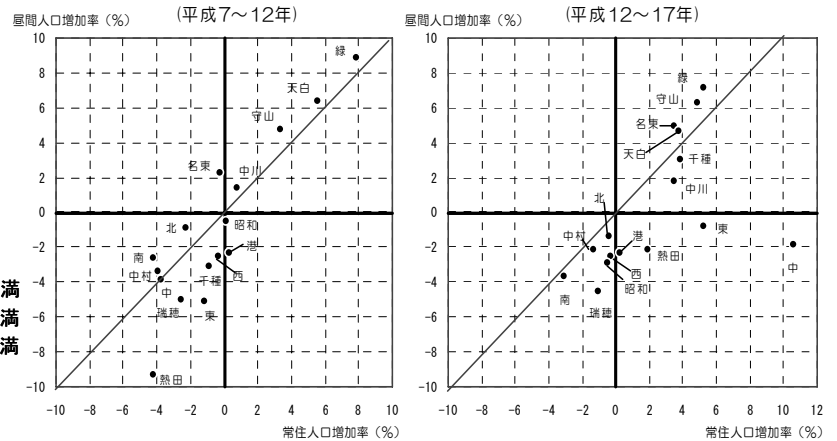


図2-4 区別昼間人口と常住人口の増加率



Ⅱ-3 「県内市外」との流入超過数は全区で前回より減少

区別の流入出をみると、「市内他区へ」の流出は、中川区が50,767人で最も多く、次いで緑区の47,971人、千種区の44,105人と続いている。一方、「市内他区から」の流入は中区が140,465人で最も多く、逆に守山区は10,965人で最小となっている。

また、前回（平成12年）と比較すると「県内市外へ」の流出は、緑区で3,397人増加、天白区で1,432人増加するなど中村区を除く15区で増加している。一方「県内市外から」の流入も守山区を除く全ての区で減少しており、「県内市外」との流入超過数では全ての区で前回より減少した。「県外へ」の流出は11区で前回より増加、「県外から」の流入も9区で減少したため、流入超過数が増加したのは5区にとどまり、全体的に市外への流出傾向が拡大している。

【付表2-2】

付表2-2 区別、就業者・通学者の流入出

各年10月1日

区 別	実 数 (平成17年)						増 加 数 (平成12年～17年)						流入超過数	
	流 出			流 入			流 出			流 入				
	市 内 へ	県 外 へ	県 外 へ	市 内 へ	県 外 へ	県 外 へ	市 内 へ	県 外 へ	県 外 へ	市 内 へ	県 外 へ	県 外 へ	市 内 へ	県 外 へ
名古屋市	533,815	176,267	18,303	533,815	408,711	108,082	-20,034	12,835	591	-20,034	-29,302	-649	-42,137	-1,240
千 種 区	44,105	9,027	1,640	40,531	25,008	7,203	-1,012	485	69	-100	-1,157	218	-1,642	149
東 区	19,162	4,057	725	39,843	25,415	7,187	18	239	72	-1,407	-2,379	-209	-2,618	-281
北 区	39,401	14,166	1,270	17,087	16,153	2,733	-1,426	177	-80	-790	-1,698	-338	-1,875	-258
西 区	31,137	12,873	1,127	20,892	26,473	4,874	-105	608	-190	-883	-1,791	-370	-2,399	-180
中 村 区	26,835	8,747	1,337	56,575	59,100	22,722	-1,556	-39	66	-1,800	-3,176	56	-3,137	-10
中 区	11,269	3,093	636	140,465	101,409	32,410	-272	446	163	-5,643	-6,736	225	-7,182	62
昭 和 区	31,945	5,823	960	29,873	17,483	4,807	-1,095	278	55	-1,745	-2,043	-75	-2,321	-130
瑞 穂 区	31,665	6,487	817	23,434	12,270	2,761	-489	436	13	-1,974	-1,693	-117	-2,129	-130
熱 田 区	17,986	4,157	539	26,284	16,737	3,920	-528	590	36	-1,171	-1,818	-17	-2,408	-53
中 川 区	50,767	14,608	2,006	24,115	16,366	3,350	145	1,173	194	-1,293	-1,017	-241	-2,190	-435
港 区	28,593	9,960	1,069	32,899	19,441	4,939	-1,019	1,090	-19	-1,619	-2,440	-442	-3,530	-423
南 区	32,149	10,729	722	23,621	16,205	2,109	-2,162	337	-200	-1,240	-1,591	-65	-1,928	135
守 山 区	36,432	17,274	1,321	10,965	15,162	2,468	-1,195	1,171	-20	-53	300	165	-871	185
緑 区	47,971	27,530	1,505	12,472	13,300	875	-3,904	3,397	101	118	-404	91	-3,801	-10
名 東 区	41,960	14,359	1,474	15,696	15,247	2,125	-3,288	1,015	128	-181	-1,208	54	-2,223	-74
天 白 区	42,438	13,377	1,155	19,063	12,942	3,599	-2,146	1,432	203	-253	-451	416	-1,883	213

Ⅱ-4 中区で非常に高い生産年齢人口の昼夜間人口比率

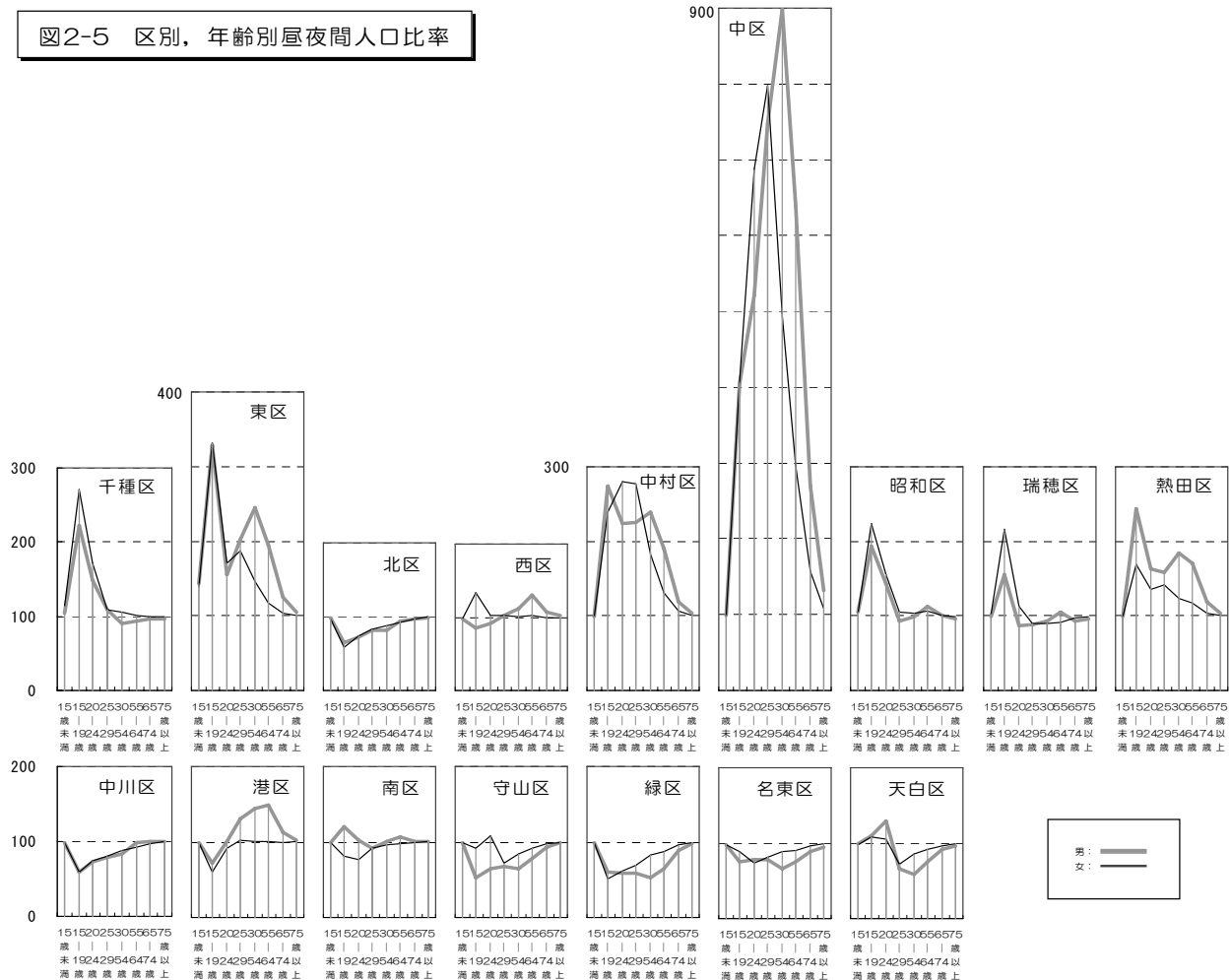
昼夜間人口比率を区別、年齢階級別にみると、中区では生産年齢人口にあたる15～64歳が非常に高くなっている。また中区、中村区では女性の20～24歳、25～29歳の昼夜間人口比率が、他の年齢階級のそれを大きく上回っており、他の区にはみられない特徴となっている。

また、千種区、東区、昭和区、瑞穂区及び熱田区では、男女ともに15～19歳の昼夜間人口比率が高くなっており、多くの学生が流入していることがうかがえる。

一方、住宅地としての性格の強い周辺区では昼夜間人口比率の低い年齢階級が多く、特に北区、緑区、名東区はすべての年齢階級で100を下回り流出超過となっている。

[付表2-3、図2-5]

図2-5 区別、年齢別昼夜間人口比率



付表2-3 区別、男女別、年齢別昼夜間人口比率

平成17年10月1日

年 齢 別	千 種 区	東 区	北 区	西 区	中 村 区	中 区	昭 和 区	瑞 穂 区	熱 田 区	中 川 区	港 区	南 区	守 山 区	緑 区	名 東 区	天 白 区
男																
15歳未満	104.8	143.4	98.1	98.3	99.7	99.5	105.3	98.2	99.2	99.0	99.4	99.4	99.5	98.9	98.0	98.6
15～19歳	221.9	329.1	64.4	84.6	274.8	404.0	194.1	155.9	243.9	59.4	71.8	120.2	52.2	59.7	75.9	110.2
20～24歳	149.0	155.0	72.1	90.8	224.3	521.8	143.5	86.4	163.1	72.2	100.9	102.8	64.0	58.0	78.2	128.6
25～29歳	108.8	202.1	81.0	102.8	225.7	747.1	93.1	89.0	159.0	79.2	130.3	92.1	67.4	58.4	78.0	66.7
30～54歳	90.9	244.7	82.2	112.1	239.8	898.9	98.7	92.4	184.2	83.6	145.1	100.2	64.6	52.5	66.7	58.1
55～64歳	92.8	194.5	94.3	130.0	190.7	639.3	112.2	105.3	169.9	98.4	149.3	107.3	78.5	64.6	75.2	74.8
65～74歳	96.4	125.3	97.6	107.5	118.9	270.1	101.0	93.5	118.5	99.8	113.3	101.2	93.3	88.4	89.3	92.1
75歳以上	96.9	104.2	99.0	102.1	102.9	131.2	96.5	95.7	103.6	100.6	102.5	100.4	98.7	97.2	95.4	96.8
女																
15歳未満	113.2	137.8	97.6	98.2	99.4	96.9	104.0	101.6	99.4	98.5	99.3	98.8	99.0	98.5	97.7	98.0
15～19歳	271.1	331.2	58.8	133.1	238.5	406.9	223.3	215.7	169.1	58.3	60.7	80.9	91.9	51.6	89.0	107.8
20～24歳	170.9	170.7	74.0	102.5	279.5	687.1	155.8	112.3	135.9	73.6	91.0	77.0	108.5	61.4	74.4	105.9
25～29歳	108.4	187.3	82.7	101.6	276.6	798.2	104.5	89.3	141.7	80.9	101.8	92.1	72.5	68.8	81.9	72.1
30～54歳	105.0	145.5	87.3	100.3	182.2	494.8	103.2	90.0	122.7	87.8	100.7	96.4	83.6	82.2	88.2	86.0
55～64歳	101.1	116.9	91.7	102.2	131.6	296.3	106.0	91.4	117.6	92.6	100.2	97.6	91.1	87.9	90.1	91.8
65～74歳	98.8	103.9	97.2	100.0	107.0	156.5	100.6	97.1	103.8	97.7	99.3	99.0	97.4	96.5	95.5	96.5
75歳以上	99.0	100.3	99.8	99.9	100.7	107.8	99.4	99.1	100.4	100.1	100.0	100.0	99.7	99.4	99.3	99.7

Ⅲ 大阪市の昼間人口比率は 138.0、本市は 114.7 で 15 大都市中第 3 位

昼間人口を 15 大都市別にみると、東京都区部 11,284,699 人、大阪市 3,581,675 人、横浜市 3,205,144 人に次ぎ、本市は 2,516,196 人で第 4 位となっている。昼夜間人口比率は、大阪市の 138.0、東京都区部の 135.1 に次ぎ、本市は 114.7 で第 3 位となっている。

前回（平成 12 年）より昼間人口が増加した都市は、本市のほか 10 都市あり、増加数の多い順に東京都区部が 159,564 人増（前回比 1.4%）、横浜市が 113,978 人増（同 3.7%）、札幌市が 73,189 人増（同 4.0%）と続き、本市は 1,647 人増（同 0.1%）で 11 番目であった。残りの 4 都市では前回より減少しており、最も減少数の多かったのは大阪市で 82,739 人減（同 -2.3%）となっている。

一方、流入超過数をみると、全都市とも前回より減少しており、さらに流入人口に限ってみると増加したのは仙台市のみである。

また、昼夜間人口比率をみても前回より増加したのはさいたま市のみとなっており、各都市の昼間人口は、市内残留人口の増加や流出人口の減少の面での増加はあるものの、他市町村からの流入については減少傾向にある。 [付表 3、図 3-1、図 3-2]

図 3-1 15 大都市の昼間人口

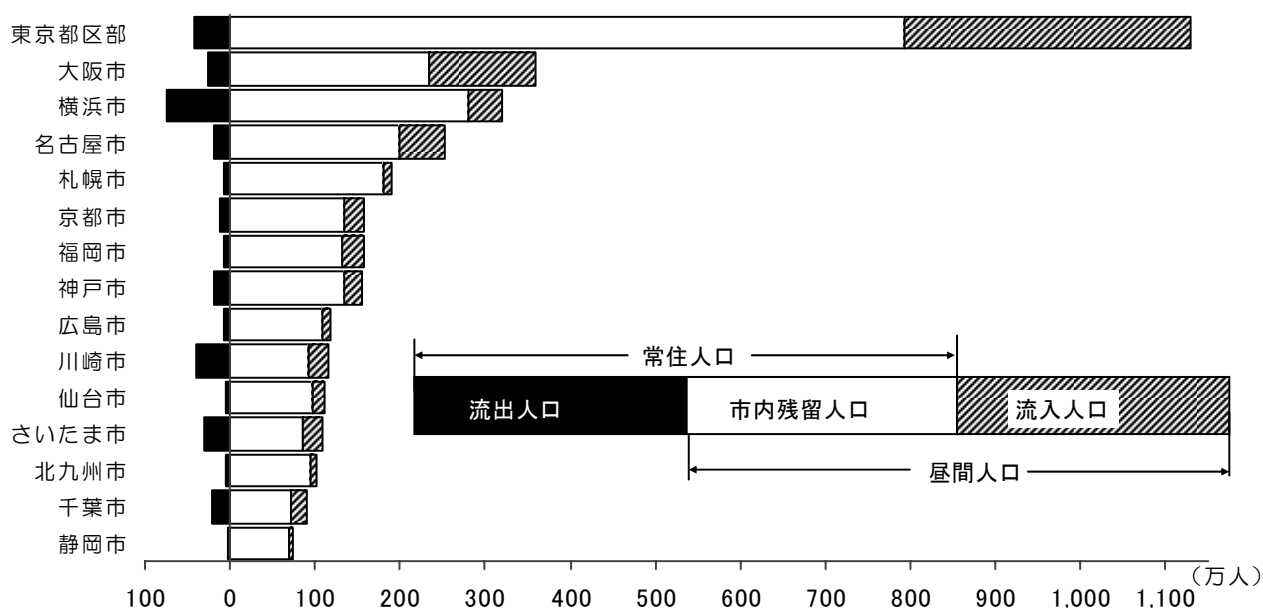
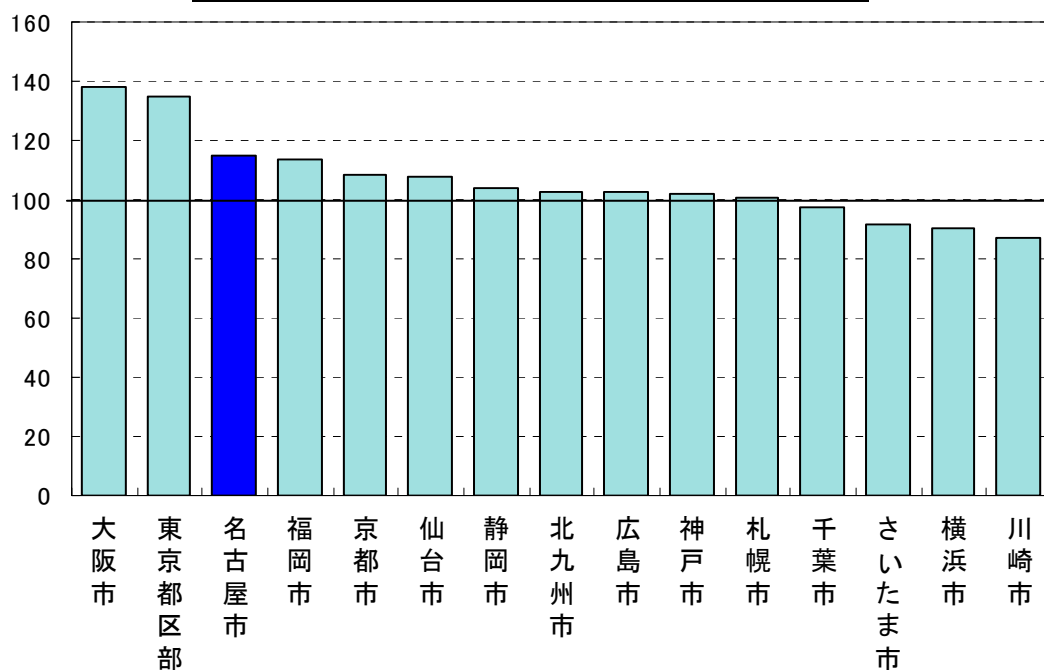


図 3-2 15 大都市の昼夜間人口比率



付表3 15大都市の常住人口、屋間人口

各年10月1日

市 別	常 住 人 口	流 出 人 口	流 入 人 口	流 入 超 過 数	屋 間 人 口	屋 夜 間 人 口 比 率	常住人口100人当たり	
							流 出 人 口	流 入 人 口
			平 成 12 年					
名古屋	2,148,949	181,144	546,744	365,600	2,514,549	117.0	8.4	25.4
札幌	1,797,479	62,192	85,470	23,278	1,820,757	101.3	3.5	4.8
仙台	1,007,628	48,955	131,489	82,534	1,090,162	108.2	4.9	13.0
さいたま	1,131,538	312,445	217,885	-94,560	1,036,978	91.6	27.6	19.3
千葉	883,008	201,875	177,569	-24,306	858,702	97.2	22.9	20.1
東京都部	8,092,268	437,638	3,470,505	3,032,867	11,125,135	137.5	5.4	42.9
横浜	3,414,860	730,625	406,931	-323,694	3,091,166	90.5	21.4	11.9
川崎	1,249,029	388,178	236,239	-151,939	1,097,090	87.8	31.1	18.9
静岡	719,726	26,141	59,772	33,631	753,357	104.7	3.6	8.3
京都	1,461,052	117,299	247,329	130,030	1,591,082	108.9	8.0	16.9
大阪	2,595,394	264,111	1,333,131	1,069,020	3,664,414	141.2	10.2	51.4
神戸	1,492,143	174,618	219,191	44,573	1,536,716	103.0	11.7	14.7
広島	1,132,660	59,590	97,138	37,548	1,170,208	103.3	5.3	8.6
北九州	1,010,127	46,568	81,407	34,839	1,044,966	103.4	4.6	8.1
福岡	1,336,662	70,644	265,156	194,512	1,531,174	114.6	5.3	19.8
			平 成 17 年					
名古屋	2,193,973	194,570	516,793	322,223	2,516,196	114.7	8.9	23.6
札幌	1,877,965	69,051	85,032	15,981	1,893,946	100.9	3.7	4.5
仙台	1,020,160	53,743	132,564	78,821	1,098,981	107.7	5.3	13.0
さいたま	1,172,677	309,746	214,707	-95,039	1,077,638	91.9	26.4	18.3
千葉	919,550	200,816	175,293	-25,523	894,027	97.2	21.8	19.1
東京都部	8,351,955	421,545	3,354,289	2,932,744	11,284,699	135.1	5.0	40.2
横浜	3,545,447	739,648	399,345	-340,303	3,205,144	90.4	20.9	11.3
川崎	1,326,152	401,148	229,432	-171,716	1,154,436	87.1	30.2	17.3
静岡	713,406	28,505	56,682	28,177	741,583	103.9	4.0	7.9
京都	1,460,688	118,297	240,589	122,292	1,582,980	108.4	8.1	16.5
大阪	2,594,686	252,062	1,239,051	986,989	3,581,675	138.0	9.7	47.8
神戸	1,520,551	180,078	207,498	27,420	1,547,971	101.8	11.8	13.6
広島	1,144,498	64,426	94,329	29,903	1,174,401	102.6	5.6	8.2
北九州	992,654	50,322	78,115	27,793	1,020,447	102.8	5.1	7.9
福岡	1,384,925	76,289	262,548	186,259	1,571,184	113.4	5.5	19.0
			増 加 数 (平成17年 - 平成12年)					
名古屋	45,024	13,426	-29,951	-43,377	1,647	-2.3	0.5	-1.8
札幌	80,486	6,859	-438	-7,297	73,189	-0.4	0.2	-0.3
仙台	12,532	4,788	1,075	-3,713	8,819	-0.5	0.4	0.0
さいたま	41,139	-2,699	-3,178	-479	40,660	0.3	-1.2	-1.0
千葉	36,542	-1,059	-2,276	-1,217	35,325	0.0	-1.1	-1.0
東京都部	259,687	-16,093	-116,216	-100,123	159,564	-2.4	-0.4	-2.7
横浜	130,587	9,023	-7,586	-16,609	113,978	-0.1	-0.5	-0.6
川崎	77,123	12,970	-6,807	-19,777	57,346	-0.7	-0.9	-1.6
静岡	-6,320	2,364	-3,090	-5,454	-11,774	-0.8	0.4	-0.4
京都	-364	998	-6,740	-7,738	-8,102	-0.5	0.1	-0.4
大阪	-708	-12,049	-94,080	-82,031	-82,739	-3.2	-0.5	-3.6
神戸	28,408	5,460	-11,693	-17,153	11,255	-1.2	0.1	-1.1
広島	11,838	4,836	-2,809	-7,645	4,193	-0.7	0.3	-0.4
北九州	-17,473	3,754	-3,292	-7,046	-24,519	-0.6	0.5	-0.2
福岡	48,263	5,645	-2,608	-8,253	40,010	-1.2	0.2	-0.8
			増 加 率 (%)					
名古屋	2.1	7.4	-5.5	-11.9	0.1	-	6.0	-7.1
札幌	4.5	11.0	-0.5	-31.3	4.0	-	5.7	-6.3
仙台	1.2	9.8	0.8	-4.5	0.8	-	8.2	0.0
さいたま	3.6	-0.9	-1.5	-0.5	3.9	-	-4.3	-5.2
千葉	4.1	-0.5	-1.3	-5.0	4.1	-	-4.8	-5.0
東京都部	3.2	-3.7	-3.3	-3.3	1.4	-	-7.4	-6.3
横浜	3.8	1.2	-1.9	-5.1	3.7	-	-2.3	-5.0
川崎	6.2	3.3	-2.9	-13.0	5.2	-	-2.9	-8.5
静岡	-0.9	9.0	-5.2	-16.2	-1.6	-	11.1	-4.8
京都	-0.0	0.9	-2.7	-6.0	-0.5	-	1.3	-2.4
大阪	-0.0	-4.6	-7.1	-7.7	-2.3	-	-4.9	-7.0
神戸	1.9	3.1	-5.3	-38.5	0.7	-	0.9	-7.5
広島	1.0	8.1	-2.9	-20.4	0.4	-	5.7	-4.7
北九州	-1.7	8.1	-4.0	-20.2	-2.3	-	10.9	-2.5
福岡	3.6	8.0	-1.0	-4.2	2.6	-	3.8	-4.0

注1) 常住人口及び屋間人口には、年齢不詳を含まない。

注2) さいたま市の平成12年の常住人口及び屋間人口は、平成12年国勢調査による、浦和市、大宮市、岩槻市及び与野市の合算の人口である。

注3) 静岡市の常住人口及び屋間人口は、平成12年は平成12年国勢調査による、静岡市、清水市及び蒲原町の合算の人口、平成17年は平成17年国勢調査による、静岡市及び蒲原町の合算の人口である。

注4) 京都市の平成12年の常住人口及び屋間人口は、平成12年国勢調査による、京都市及び京北町の合算の人口である。

注5) 広島市の平成12年の常住人口及び屋間人口は、平成12年国勢調査による、広島市及び湯来町の合算の人口である。

注6) 注2から注5までの各数値は本市が独自に推計したものであり、各都市の公表値と相違する場合がある。

Ⅳ-1 市外で従業する就業者の割合は、前々回から引き続き上昇

本市に常住する15歳以上人口1,900,568人のうち就業者・通学者は1,207,286人であり、前回（平成12年）と比較すると33,715人減少（前回比-2.7%）している。

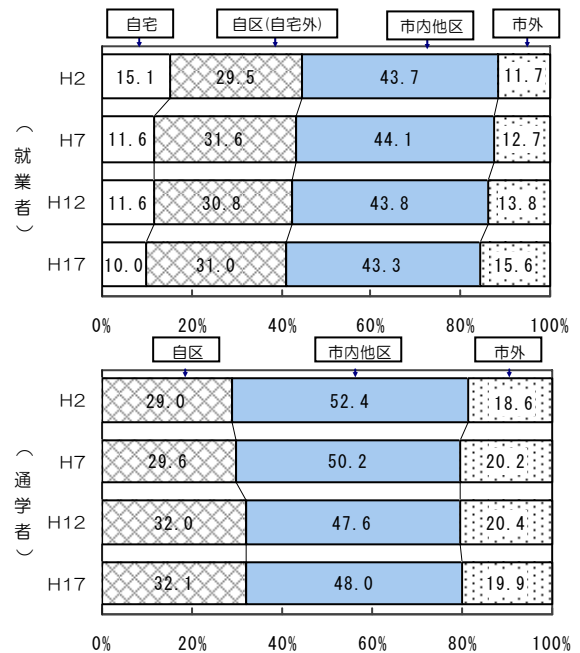
就業者総数は1,090,380人で、前回より19,540人減（前回比-1.8%）と前回に引き続き減少となった。

そのうち「自区」で従業する者は22,676人の減少と、前々回から3期連続の減少となり、「市内他区」で従業する者も13,682人減少と前回に引き続き減少した。一方、「県外」で従業する者は、前回と比べて721人の増加にとどまったものの、「県内他市町村」で従業する者は16,097人増加した。〔付表4-1、図4-2〕

本市に常住する就業者・通学者の従業地・通学地別割合をみると、就業者では市外へ通勤している者の割合は15.6%（前回比1.8ポイント増）で引き続き上昇している一方、通学者では市外へ通学している者の割合は19.9%（前回比0.5ポイント減）と減少に転じた。

〔図4-1〕

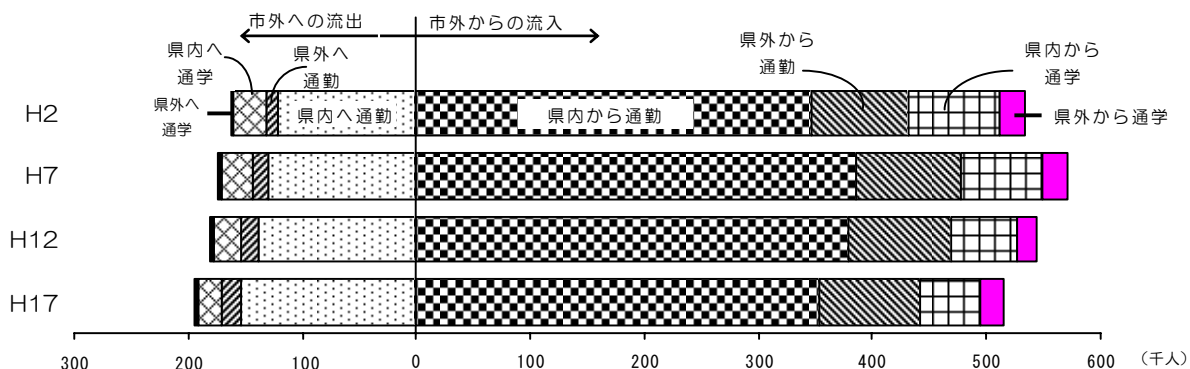
図4-1 市内に常住する15歳以上就業者・通学者の従業地・通学地別割合



付表4-1 市内に常住する15歳以上人口総数、就業者数、通学者数の推移

従業地・通学地	15歳以上就業者・通学者数				増加数			増加率(%)		
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	2～7年	7～12年	12～17年	2～7年	7～12年	12～17年
15歳以上人口総数	1,776,142	1,818,256	1,845,677	1,900,568	42,114	27,421	54,891	2.4	1.5	3.0
就業者・通学者総数	1,290,406	1,284,455	1,241,001	1,207,286	-5,951	-43,454	-33,715	-0.5	-3.4	-2.7
自区	549,534	534,408	512,320	485,184	-15,126	-22,088	-27,136	-2.8	-4.1	-5.3
自宅	170,178	131,936	128,531	109,343	-38,242	-3,405	-19,188	-22.5	-2.6	-14.9
自宅外	379,356	402,472	383,789	375,841	23,116	-18,683	-7,948	6.1	-4.6	-2.1
市内他区	577,933	575,810	548,412	528,424	-2,123	-27,398	-19,988	-0.4	-4.8	-3.6
県内他市町村	149,118	156,295	162,585	175,427	7,177	6,290	12,842	4.8	4.0	7.9
県外	13,821	17,942	17,684	18,251	4,121	-258	567	29.8	-1.4	3.2
就業者数	1,123,429	1,136,268	1,109,920	1,090,380	12,839	-26,348	-19,540	1.1	-2.3	-1.8
自区	501,073	490,552	470,336	447,660	-10,521	-20,216	-22,676	-2.1	-4.1	-4.8
自宅	170,178	131,936	128,531	109,343	-38,242	-3,405	-19,188	-22.5	-2.6	-14.9
自宅外	330,895	358,616	341,805	338,317	27,721	-16,811	-3,488	8.4	-4.7	-1.0
市内他区	490,435	501,486	486,032	472,350	11,051	-15,454	-13,682	2.3	-3.1	-2.8
県内他市町村	120,788	129,376	138,314	154,411	8,588	8,938	16,097	7.1	6.9	11.6
県外	11,133	14,854	15,238	15,959	3,721	384	721	33.4	2.6	4.7
通学者数	166,977	148,187	131,081	116,906	-18,790	-17,106	-14,175	-11.3	-11.5	-10.8
自区	48,461	43,856	41,984	37,524	-4,605	-1,872	-4,460	-9.5	-4.3	-10.6
市内他区	87,498	74,324	62,380	56,074	-13,174	-11,944	-6,306	-15.1	-16.1	-10.1
県内他市町村	28,330	26,919	24,271	21,016	-1,411	-2,648	-3,255	-5.0	-9.8	-13.4
県外	2,688	3,088	2,446	2,292	400	-642	-154	14.9	-20.8	-6.3

図4-2 15歳以上就業者・通学者の流出数、流入数の推移



Ⅳ-2 市外からの流入人口の減少の要因は市外からの就業者の減少

本市を従業地・通学地とする15歳以上の就業者・通学者は、1,527,782人であった。前回（平成12年）と比べると、77,115人減少（前回比－4.8％）しており、そのうち市外から流入する就業者・通学者は、29,991人減少している。

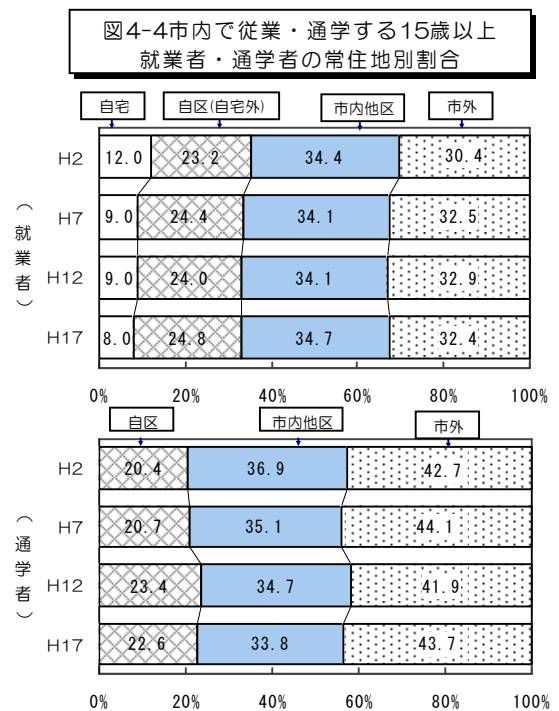
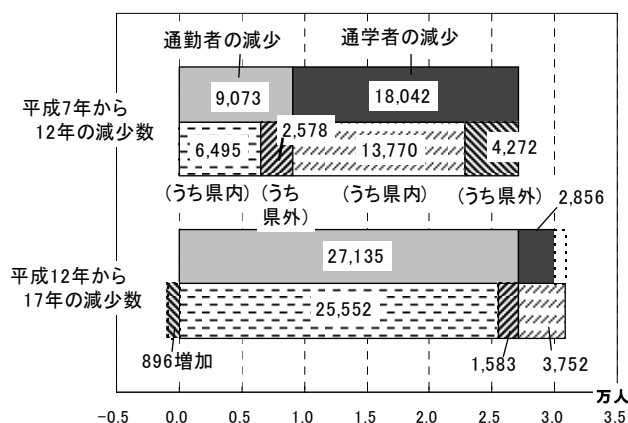
市外から流入する就業者の常住地をみると、「県内他市町村」を常住地とする就業者は、平成2年から7年の5年間では37,630人増の大きな増加を示していたが、平成7年から12年では減少に転じ、平成12年から17年では25,552人減と大きな変化を示している。また、「県外」を常住地とする就業者も前年に引き続き減少している。

また、本市を通学地とする通学者数は、少子化等の影響を受けて引き続き減少しているものの、減少度は前回よりも小さくなっている。なかでも「県外」を常住地とする通学者は、前回より896人増とわずかながら増加を示した。 [付表4-2、図4-3]

15歳以上就業者・通学者をあわせた市外からの流入者の減少数の内訳をみると、平成7年から12年では約3分の2を通学者の減少分が占めていたが、平成12年から17年ではそのほとんどが通勤者の減少によるものとなっている。 [図4-3]

本市で従業・通学する就業者・通学者の常住地別割合をみると、就業者では、市内他区から流入する就業者の割合が34.7％と最も多く、次いで市外から流入する就業者の割合が32.4％となっており、通学者では、市外から流入する通学者の割合が43.7％と最も高く、次いで市内他区からの流入者が33.8％となっている。市外からの就業者・通学者の割合を前回と比較すると、就業者では0.5ポイント低下し、通学者では1.8ポイントの増加となっている。 [図4-4]

図4-3 市外から通勤・通学する15歳以上就業者・通学者の減少数



付表4-2 市内で従業・通学する15歳以上就業者・通学者数の推移

各年10月1日

常 住 地	15歳以上就業者・通学者数				増 加 数			増 加 率 (%)		
	平 成 2 年	平 成 7 年	平 成 12 年	平 成 17 年	2～7年	7～12年	12～17年	60～2年	7～12年	12～17年
総数	1,661,044	1,681,498	1,604,897	1,527,782	20,454	-76,601	-77,115	1.2	-4.6	-4.8
自 区	549,534	534,408	512,320	485,184	-15,126	-22,088	-27,136	-2.8	-4.1	-5.3
自 宅	170,178	131,936	128,531	109,343	-38,242	-3,405	-19,188	-22.5	-2.6	-14.9
自 宅 外	379,356	402,472	383,789	375,841	23,116	-18,683	-7,948	6.1	-4.6	-2.1
市内他区	577,933	575,810	548,412	528,424	-2,123	-27,398	-19,988	-0.4	-4.8	-3.6
県内他市町村	426,816	456,026	435,761	406,457	29,210	-20,265	-29,304	6.8	-4.4	-6.7
県外	106,761	115,254	108,404	107,717	8,493	-6,850	-687	8.0	-5.9	-0.6
就業者数	1,423,684	1,469,916	1,425,173	1,361,680	46,232	-44,743	-63,493	3.2	-3.0	-4.5
自 区	501,073	490,552	470,336	447,660	-10,521	-20,216	-22,676	-2.1	-4.1	-4.8
自 宅	170,178	131,936	128,531	109,343	-38,242	-3,405	-19,188	-22.5	-2.6	-14.9
自 宅 外	330,895	358,616	341,805	338,317	27,721	-16,811	-3,488	8.4	-4.7	-1.0
市内他区	490,435	501,486	486,032	472,350	11,051	-15,454	-13,682	2.3	-3.1	-2.8
県内他市町村	347,273	384,903	378,408	352,856	37,630	-6,495	-25,552	10.8	-1.7	-6.8
県外	84,903	92,975	90,397	88,814	8,072	-2,578	-1,583	9.5	-2.8	-1.8
通学者数	237,360	211,582	179,724	166,102	-25,778	-31,858	-13,622	-10.9	-15.1	-7.6
自 区	48,461	43,856	41,984	37,524	-4,605	-1,872	-4,460	-9.5	-4.3	-10.6
市内他区	87,498	74,324	62,380	56,074	-13,174	-11,944	-6,306	-15.1	-16.1	-10.1
県内他市町村	79,543	71,123	57,353	53,601	-8,420	-13,770	-3,752	-10.6	-19.4	-6.5
県外	21,858	22,279	18,007	18,903	421	-4,272	896	1.9	-19.2	5.0

Ⅳ-3 昼夜間人口比率では「情報通信業」、流入超過数では「卸売・小売業」がトップ

昼間就業者について産業別にみると、第1次産業は3,142人（総数の0.2%）、第2次産業は305,304人（同 22.4%）、第3次産業は1,027,965人（同 75.5%）となっている。

産業別の昼夜間人口比率では、「情報通信業」が179.9と最も高く、次いで「電気・ガス・熱供給・水道業」が165.3、「金融・保険業」が156.9となっている。

流入超過数では「卸売・小売業」が70,994人と最も多く、以下「サービス業（他に分類されないもの）」、「建設業」となっている。 [付表4-3]

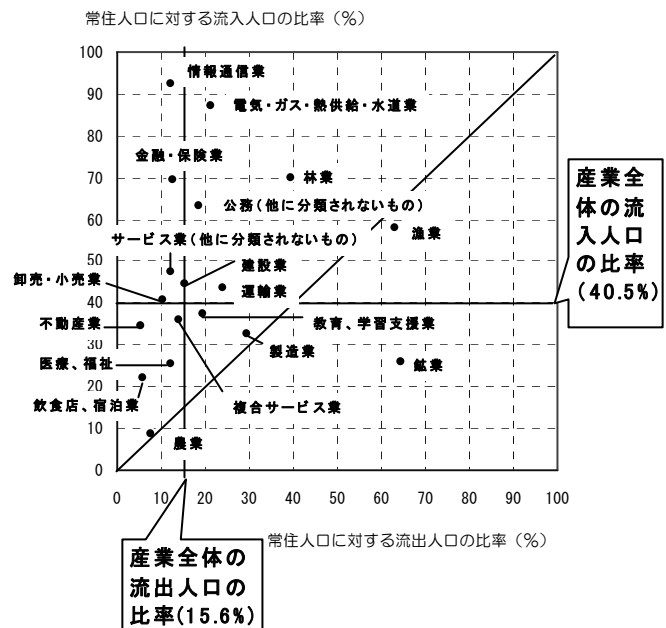
常住人口に対する流入・流出人口の比率を産業大分類別にみると、「漁業」及び「鉱業」以外の産業は流入人口の比率が流出人口の比率を上回っている。

流出人口の比率に対して最も流入人口の比率が高いのは「情報通信業」で、流入人口の流出人口に対する比率は7.4倍となっている。次いで「不動産業」が6.5倍、「金融・保険業」が5.5倍となっている。

また、「農業」や「製造業」については1.1倍と、流入人口と流出人口が同程度となっている。

[付表4-3、図4-5]

図4-5 産業大分類別の流入・流出人口の常住人口に対する比率（平成17年）



付表4-3 産業（大分類）別15歳以上就業者数

平成17年10月1日

	常 就 業 者	流 出 就 業 者	流 入 就 業 者	昼 間 就 業 者	昼間就業者 の構成割合 (%)	昼 夜 間 人 口 比 率	流 入 超 過 数	常住人口に 対する流出 人口の比率 (%)	常住人口に 対する流入人口 の比率(%)	流入人口の 流出人口に 対する比率
	A	B	C	D		$D \div A \times 100$	C-B	$B \div A \times 100$	$C \div A \times 100$	C/B
総数	1,090,380	170,370	441,670	1,361,680	100.0	124.9	271,300	15.6	40.5	2.6
第1次産業	3,114	267	295	3,142	0.2	100.9	28	8.6	9.5	1.1
農業	3,062	242	261	3,081	0.2	100.6	19	7.9	8.5	1.1
林業	33	13	23	43	0.0	130.3	10	39.4	69.7	1.8
漁業	19	12	11	18	0.0	94.7	-1	63.2	57.9	0.9
第2次産業	273,131	67,866	100,039	305,304	22.4	111.8	32,173	24.8	36.6	1.5
鉱業	31	20	8	19	0.0	61.3	-12	64.5	25.8	0.4
建設業	90,824	14,219	40,595	117,200	8.6	129.0	26,376	15.7	44.7	2.9
製造業	182,276	53,627	59,436	188,085	13.8	103.2	5,809	29.4	32.6	1.1
第3次産業	790,840	100,145	337,270	1,027,965	75.5	130.0	237,125	12.7	42.6	3.4
電気・ガス・ 熱供給・水道業	5,934	1,281	5,157	9,810	0.7	165.3	3,876	21.6	86.9	4.0
情報通信業	29,665	3,678	27,366	53,353	3.9	179.9	23,688	12.4	92.3	7.4
運輸業	61,801	14,995	26,931	73,737	5.4	119.3	11,936	24.3	43.6	1.8
卸売・小売業	236,001	24,599	95,593	306,995	22.5	130.1	70,994	10.4	40.5	3.9
金融・保険業	28,070	3,567	19,534	44,037	3.2	156.9	15,967	12.7	69.6	5.5
不動産業	20,250	1,078	7,013	26,185	1.9	129.3	5,935	5.3	34.6	6.5
飲食店、宿泊業	71,541	4,174	15,629	82,996	6.1	116.0	11,455	5.8	21.8	3.7
医療、福祉	83,496	10,374	21,058	94,180	6.9	112.8	10,684	12.4	25.2	2.0
教育、学習支援業	48,326	9,451	17,957	56,832	4.2	117.6	8,506	19.6	37.2	1.9
複合サービス事業	7,634	1,074	2,756	9,316	0.7	122.0	1,682	14.1	36.1	2.6
サービス業（他に分類 されないもの）	172,230	21,072	81,952	233,110	17.1	135.3	60,880	12.2	47.6	3.9
公務（他に分類 されないもの）	25,892	4,802	16,324	37,414	2.7	144.5	11,522	18.5	63.0	3.4

注）総数には分類不能の産業を含む。

Ⅳ-4 流入の 8 割が愛知県内から、流出の 9 割が愛知県内へ

本市を従業地・通学地とし、市外から流入する 15 歳以上の就業者・通学者総数 514,174 人のうち、愛知県内に常住するのは 406,457 人（総数の 79.1%）、岐阜県は 62,395 人（同 12.1%）、三重県は 32,791 人（同 6.4%）となっている。

流入数を前回（平成 12 年）と比べると、県内からは 29,304 人減（前回比 -6.7%）、岐阜県からは 1,434 人減（同 -2.2%）、三重県からは 1,747 人減（同 -5.1%）の減少となった。

また、本市に常住し、市外へ流出している 15 歳以上の就業者・通学者総数 193,678 人のうち、愛知県内市外へは 175,427 人（総数の 90.6%）、岐阜県へは 7,147 人（同 3.7%）、三重県へは 5,379 人（同 2.8%）が流出している。

[付表4-4、図4-6、図4-7、図4-8]

図4-6 市町村別昼間流入人口

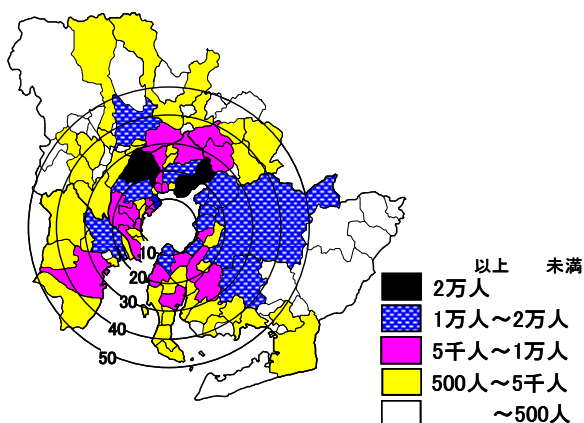


図4-7 市町村別昼間流出人口

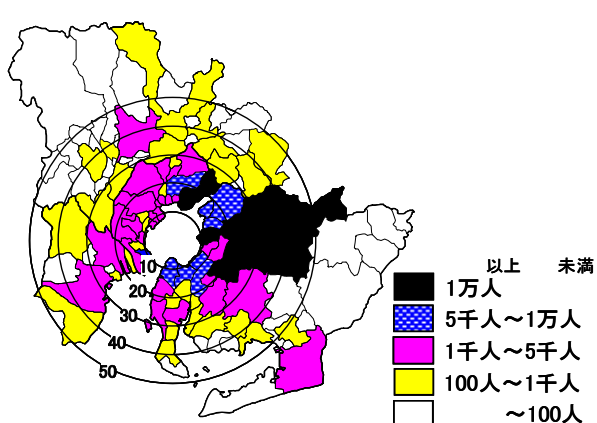


図4-8 市町村別昼間流入人口増加数

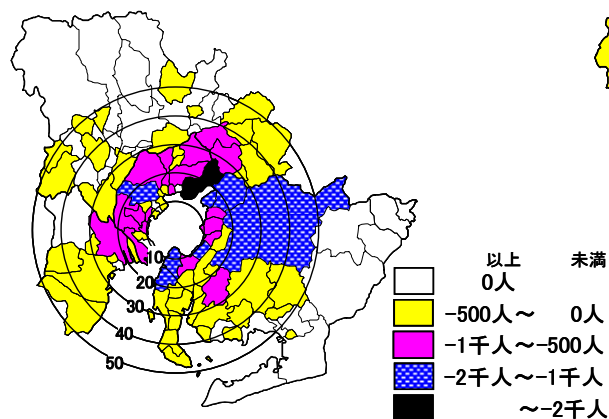


図4-9 市町村別昼間流出人口増加数

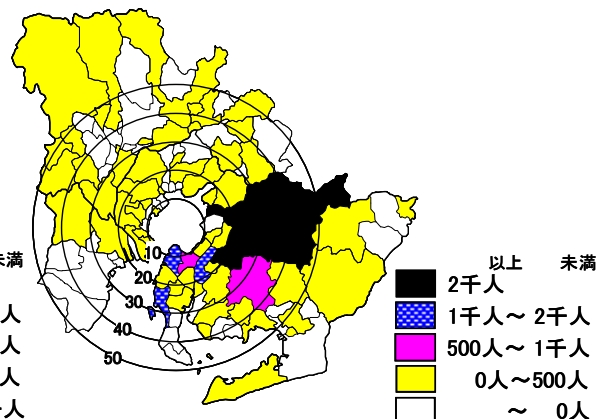


図4-10 市町村別昼間流入率

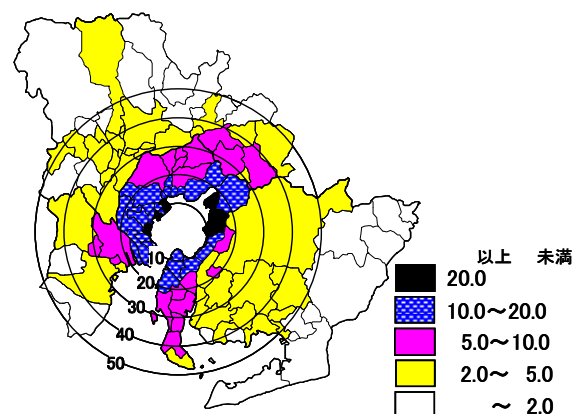
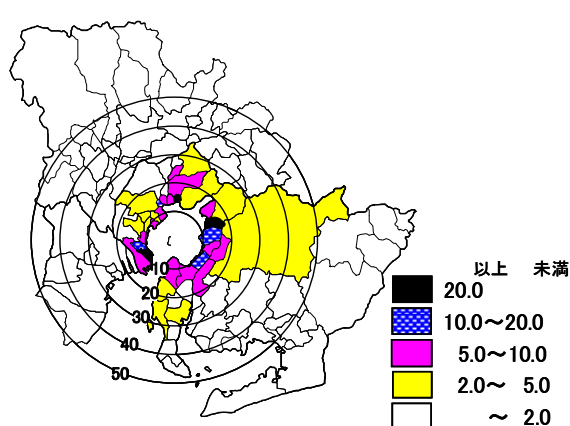


図4-11 市町村別昼間流出率



付表4-4 流出先・流入先別、15歳以上就業者・通学者数

各年10月1日

地域	流入（表側地域から本市へ）						流出（本市から表側地域へ）					
	実数		構成比(%)		増加数	増加率(%)	実数		構成比(%)		増加数	増加率(%)
	平成12年	平成17年	平成12年	平成17年			平成12年	平成17年	平成12年	平成17年		
総数	544,165	514,174	100.0	100.0	-29,991	-5.5	180,269	193,678	100.0	100.0	13,409	7.4
キ口圏 (Kml)												
0～10	31,222	29,942	5.7	5.8	-1,280	-4.1	9,297	8,805	5.2	4.5	-492	-5.3
10～20	296,531	275,681	54.5	53.6	-20,850	-7.0	116,071	123,064	64.4	63.5	6,993	6.0
20～30	114,323	104,861	21.0	20.4	-9,462	-8.3	32,165	37,753	17.8	19.5	5,588	17.4
30～40	63,527	62,181	11.7	12.1	-1,346	-2.1	12,617	12,844	7.0	6.6	227	1.8
40～50	12,563	12,512	2.3	2.4	-51	-0.4	1,812	1,692	1.0	0.9	-120	-6.6
50～	25,999	28,997	4.8	5.6	2,998	11.5	8,307	9,520	4.6	4.9	1,213	14.6
県内市外	435,761	406,457	80.1	79.1	-29,304	-6.7	162,585	175,427	90.2	90.6	12,842	7.9
春日井市	47,472	44,580	8.7	8.7	-2,892	-6.1	14,536	14,722	8.1	7.6	186	1.3
一宮市	33,095	32,212	6.1	6.3	-883	-2.7	4,328	4,555	2.4	2.4	227	5.2
日進市	17,724	16,771	3.3	3.3	-953	-5.4	10,941	10,919	6.1	5.6	-22	-0.2
尾張旭市	17,933	16,678	3.3	3.2	-1,255	-7.0	5,204	5,451	2.9	2.8	247	4.7
稲沢市	18,071	16,534	3.3	3.2	-1,537	-8.5	3,572	3,733	2.0	1.9	161	4.5
瀬戸市	16,791	15,436	3.1	3.0	-1,355	-8.1	6,175	6,313	3.4	3.3	138	2.2
東海市	14,910	13,805	2.7	2.7	-1,105	-7.4	6,584	7,805	3.7	4.0	1,221	18.5
小牧市	13,100	12,481	2.4	2.4	-619	-4.7	8,910	9,199	4.9	4.7	289	3.2
岡崎市	12,226	11,869	2.2	2.3	-357	-2.9	3,747	4,447	2.1	2.3	700	18.7
清須市	11,920	11,496	2.2	2.2	-424	-3.6	4,916	4,436	2.7	2.3	-480	-9.8
須明市	11,792	10,454	2.2	2.0	-1,338	-11.3	7,109	7,254	3.9	3.7	145	2.0
長久手町	11,022	10,271	2.0	2.0	-751	-6.8	7,466	9,520	4.1	4.9	2,054	27.5
豊田市	11,515	10,148	2.1	2.0	-1,367	-11.9	11,064	14,089	6.1	7.3	3,025	27.3
知多市	10,887	9,761	2.0	1.9	-1,126	-10.3	2,029	2,084	1.1	1.1	55	2.7
大府市	10,396	9,468	1.9	1.8	-928	-8.9	6,359	6,946	3.5	3.6	587	9.2
江南市	9,686	8,731	1.8	1.7	-955	-9.9	1,459	1,418	0.8	0.7	-41	-2.8
津島市	9,632	8,711	1.8	1.7	-921	-9.6	2,098	2,128	1.2	1.1	30	1.4
愛西市	9,560	8,597	1.8	1.7	-963	-10.1	1,025	1,134	0.6	0.6	109	10.6
師勝町	8,501	7,897	1.6	1.5	-604	-7.1	2,616	2,537	1.5	1.3	-79	-3.0
蟹江町	8,434	7,804	1.5	1.5	-630	-7.5	2,392	2,267	1.3	1.2	-125	-5.2
大治町	7,323	6,995	1.3	1.4	-328	-4.5	1,554	1,613	0.9	0.8	59	3.8
甚目寺町	6,893	6,950	1.3	1.4	57	0.8	1,829	1,782	1.0	0.9	-47	-2.6
半田市	7,091	6,877	1.3	1.3	-214	-3.0	2,253	2,469	1.2	1.3	216	9.6
刈谷市	7,203	6,875	1.3	1.3	-328	-4.6	7,175	8,627	4.0	4.5	1,452	20.2
安城市	7,433	6,835	1.4	1.3	-598	-8.0	2,642	3,022	1.5	1.6	380	14.4
西春町	6,906	6,453	1.3	1.3	-453	-6.6	2,945	2,942	1.6	1.5	-3	-0.1
岩倉市	7,136	6,418	1.3	1.2	-718	-10.1	966	939	0.5	0.5	-27	-2.8
東郷町	7,172	6,224	1.3	1.2	-948	-13.2	2,549	2,738	1.4	1.4	189	7.4
弥富町	6,656	6,094	1.2	1.2	-562	-8.4	2,183	2,297	1.2	1.2	114	5.2
犬山市	6,568	6,037	1.2	1.2	-531	-8.1	1,626	1,561	0.9	0.8	-65	-4.0
豊橋市	4,472	4,687	0.8	0.9	215	4.8	1,410	1,385	0.8	0.7	-25	-1.8
七宝町	5,086	4,501	0.9	0.9	-585	-11.5	998	974	0.6	0.5	-24	-2.4
東浦町	4,459	4,020	0.8	0.8	-439	-9.8	436	679	0.2	0.4	243	55.7
美和町	4,384	3,938	0.8	0.8	-446	-10.2	608	619	0.3	0.3	11	1.8
知立市	4,346	3,849	0.8	0.7	-497	-11.4	1,165	1,278	0.6	0.7	113	9.7
好町	4,065	3,840	0.7	0.7	-225	-5.5	3,638	4,010	2.0	2.1	372	10.2
常滑市	3,877	3,481	0.7	0.7	-396	-10.2	622	2,264	0.3	1.2	1,642	264.0
扶桑町	3,468	3,039	0.6	0.6	-429	-12.4	200	195	0.1	0.1	-5	-2.5
西尾市	2,565	2,548	0.5	0.5	-17	-0.7	387	480	0.2	0.2	93	24.0
豊山町	2,256	2,307	0.4	0.4	51	2.3	3,819	2,738	2.1	1.4	-1,081	-28.3
阿久比町	2,614	2,242	0.5	0.4	-372	-14.2	200	233	0.1	0.1	33	16.5
武豊町	2,372	2,150	0.4	0.4	-222	-9.4	316	267	0.2	0.1	-49	-15.5
豊川市	2,072	2,097	0.4	0.4	25	1.2	398	436	0.2	0.2	38	9.5
蒲郡市	1,682	1,753	0.3	0.3	71	4.2	288	378	0.2	0.2	90	31.3
大口町	1,654	1,527	0.3	0.3	-127	-7.7	1,198	1,298	0.7	0.7	100	8.3
その他	11,341	11,016	2.1	2.1	-1,776	-31.8	8,650	9,246	4.8	8.6	545	3.6
岐阜県	63,829	62,395	11.7	12.1	-1,434	-2.2	7,592	7,147	4.2	3.7	-445	-5.9
岐阜市	11,997	12,555	2.2	2.4	558	4.7	2,756	2,596	1.5	1.3	-160	-5.8
多治見市	10,036	9,375	1.8	1.8	-661	-6.6	679	698	0.4	0.4	19	2.8
各務原市	6,397	5,928	1.2	1.2	-469	-7.3	433	435	0.2	0.2	2	0.5
可児市	6,441	5,548	1.2	1.1	-893	-13.9	440	419	0.2	0.2	-21	-4.8
大垣市	4,266	4,229	0.8	0.8	-37	-0.9	710	612	0.4	0.3	-98	-13.8
土岐市	3,260	3,184	0.6	0.6	-76	-2.3	307	327	0.2	0.2	20	6.5
羽島市	2,061	2,048	0.4	0.4	-13	-0.6	268	282	0.1	0.1	14	5.2
その他	19,371	19,528	3.6	3.6	465	2.3	1,999	1,778	1.2	1.1	-61	-2.9
三重県	34,538	32,791	6.3	6.4	-1,747	-5.1	5,511	5,379	3.1	2.8	-132	-2.4
桑名市	11,870	10,894	2.2	2.1	-976	-8.2	1,192	1,207	0.7	0.6	15	1.3
四日市市	8,785	8,349	1.6	1.6	-436	-5.0	1,950	1,724	1.1	0.9	-226	-11.6
鈴鹿市	2,700	2,690	0.5	0.5	-10	-0.4	333	316	0.2	0.2	-17	-5.1
東員町	2,200	1,907	0.4	0.4	-293	-13.3	59	55	0.0	0.0	-4	-6.8
いなべ市	980	993	0.2	0.2	13	1.3	290	372	0.2	0.2	82	28.3
木曽岬町	994	849	0.2	0.2	-145	-14.6	182	125	0.1	0.1	-57	-31.3
菰野町	712	672	0.1	0.1	-40	-5.6	52	50	0.0	0.0	-2	-3.8
その他	6,297	6,437	1.2	1.3	140	2.2	1,453	1,530	0.8	0.8	77	5.3
都道府県	10,037	12,531	1.8	2.4	2,494	24.8	4,581	5,725	2.5	3.0	1,144	25.0

IV-5 豊田市、長久手町等の東部近郊市町への流出が増加

流入数を金山を中心とする距離圏別にみると、0～10 キロ圏は29,942 人（総数の5.8%）、10～20 キロ圏は275,681 人（同53.6%）、20～30 キロ圏は104,861 人（同20.4%）となっており、0～30 キロ圏で総数の約80%を占めている。また、流出数も0～30 キロ圏が169,622 人で総数の87.5%を占めている。前回（平成12年）と比べると、40 キロ圏内のすべての距離圏で流入数が減少している一方、50 キロ圏以上では増加している。

市町村別で流入人口が最も多いのは、春日井市の44,580 人であるが、前回と比べると2,892 人減と、市町村の中で最も大きい減少数を示した。春日井市を始め、流入人口の大きい市町村において、流入人口の減少数が大きくなっている傾向がある。

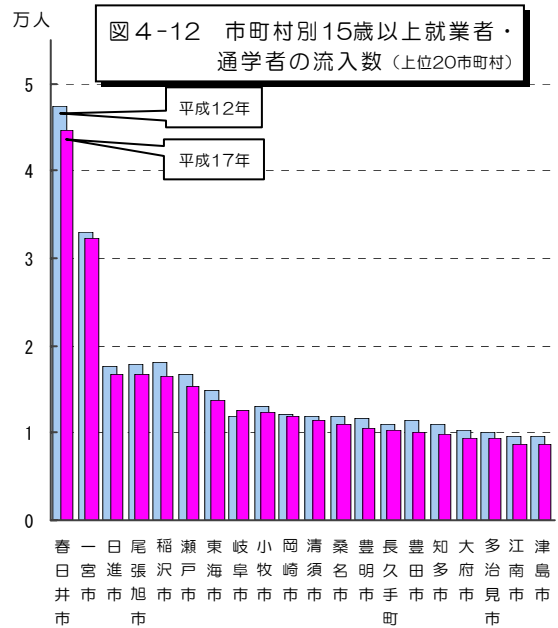
市町村別に本市からの流出人口をみると、最も大きいのは春日井市の14,722 人、続いて豊田市の14,089 人となった。また、前回と比べて最も流出人口が増加したのは、豊田市で3,025 人増加（前回比27.3%）、次いで長久手町が2,054 人（同27.5%）でこの2市町のみで県内市町村への流出人口の増加数の4 割近い比率となっている。また日進市への流出人口も前回同様1 万人を超えており、市東部の近郊市町村への流出が増加する傾向にある。

本市への流入人口の当該市町村常住人口に対する割合である昼間流入率をみると、20 キロ圏までの近距離の流入率は概ね10%を超えている。そのうち20%を超えている市町村は、大治町を始め6 市町となっている。

また、本市からの流出人口の当該市町村常住人口に対する割合である昼間流出率では、7 市町村が10%を超えている。特に飛鳥村は114.7%と、同村の常住人口を超える人数が本市から流出している。

本市との昼間人口の流出入は、特に遠距離圏では鉄道に影響されており、鉄道沿線の自治体の流入率・流出率が概ね高くなっている。JRの中央線、東海道線、関西線や近鉄名古屋線沿線地域では、県外からも高い割合で本市への流入がみられる。

〔付表4-4、付表4-5、図4-6、図4-7、図4-8、図4-9、図4-10、図4-11、図4-12〕



付表4-5 市町村別流入減少数・流出増加数、流入率・流出率（上位20位）

平成17年10月1日

順位	市町村別	流入減少数	順位	市町村別	流出増加数	順位	市町村別	流入率(%)	順位	市町村別	流出率(%)
1	春日井市	-2,892	1	豊田市	3,025	1	大治町	24.6	1	飛鳥村	114.7
2	稲沢市	-1,537	2	長久手町	2,054	2	長久手町	22.2	2	長久手町	20.5
3	豊田市	-1,367	3	常滑市	1,642	3	蟹江町	21.7	3	豊山町	20.2
4	瀬戸市	-1,355	4	刈谷市	1,452	4	尾張旭市	21.5	4	十四山村	15.4
5	豊明市	-1,338	5	東海市	1,221	5	日進市	21.4	5	春日町	14.6
6	尾張旭市	-1,255	6	岡崎市	700	6	清須市	21.0	6	日進市	13.9
7	知多市	-1,126	7	大府市	587	7	七宝町	19.7	7	豊明市	10.6
8	東海市	-1,105	8	飛鳥村	483	8	西春町	18.9	8	大府市	8.7
9	桑名市	-976	9	安城市	380	9	師勝町	18.3	9	西春町	8.6
10	愛西市	-963	10	三好町	372	10	甚目寺町	18.0	10	清須市	8.1
11	江南市	-955	11	小牧市	289	11	豊山町	17.0	11	東海市	7.5
12	日進市	-953	12	尾張旭市	247	12	美和町	16.5	12	三好町	7.1
13	東郷町	-948	13	東浦町	243	13	弥富町	16.5	13	尾張旭市	7.0
14	大府市	-928	14	一宮市	227	14	十四山村	16.2	14	東郷町	7.0
15	津島市	-921	15	半田市	216	15	東郷町	16.0	15	蟹江町	6.3
16	可児市	-893	16	東郷町	189	16	豊明市	15.3	16	小牧市	6.3
17	一宮市	-883	17	春日井市	186	17	春日井市	15.1	17	弥富町	6.2
18	長久手町	-751	18	稲沢市	161	18	飛鳥村	14.3	18	刈谷市	6.1
19	岩倉市	-718	19	豊明市	145	19	岩倉市	13.4	19	大口町	6.0
20	多治見市	-661	20	瀬戸市	138	20	津島市	13.3	20	師勝町	5.9

V-1 市内13区で15歳以上の就業者・通学者の半数以上が自区外へ通勤・通学

15歳以上の就業・通学人口を16区別にみると、従業地・通学地ベースでは中区が296,602人とトップで、同区の常住する就業者・通学者（以下「常住者」という。）の8倍近い人数となっている。他に2倍を超えているのは中村区と東区で、都心への集中度を示している。

また、常住者のうち「自区で従業・通学する」者の割合でも中区は最も高く、6割以上となっている。以下港区、中村区と続くが、5割を超えているのはこの3区のみで、他の13区では常住者の半数以上が区外へ通勤・通学しており、同比率が最も低い名東区では、7割近い人数が区外へ通勤・通学している。

一方、「市内他区から」の通勤・通学者をみると、中区が140,309人で常住者に対する比率は377.0と、双方ともトップとなっている。人数では中村区の56,395人が2番目となっているが、常住者に対する比率では東区の100.4が2番目に高く、中区以外で唯一100を越えている。また、通学者に限ってみると、千種区が唯一1万人を超えてトップとなっている。

「他市町村から」の通勤・通学者でも、中区が133,777人で常住者に対する比率は359.4と、双方ともトップとなっている。次いで、中村区が人数及び常住者に対する比率とも2番目に高くなっており、また通学者の数でも千種区に次いで2番目に多くなっている。

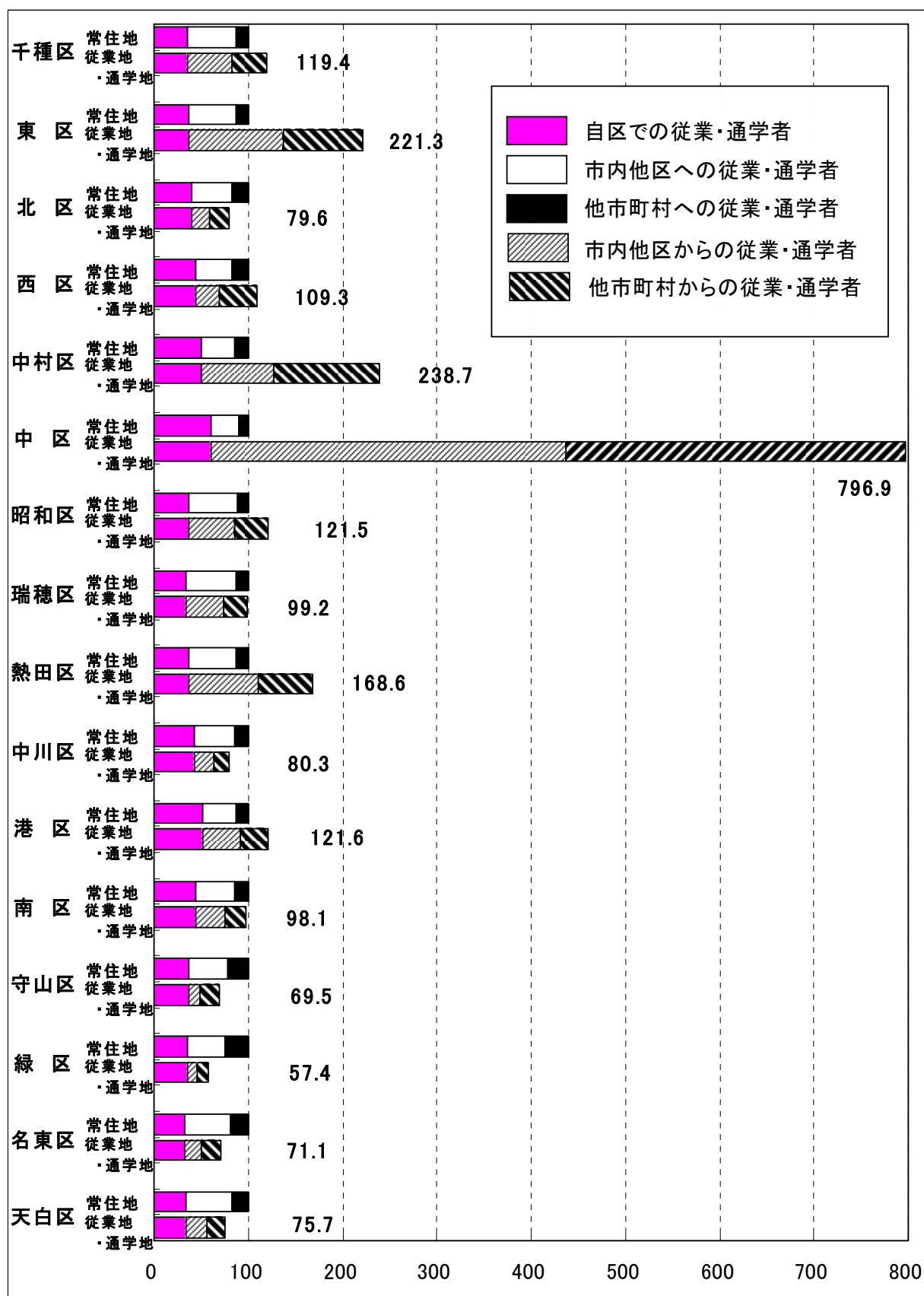
[付表5-1、図5-1]

付表5-1 15歳以上就業者・通学者の区別、常住地、従業地・通学地別人数及び

常住する15歳以上就業者・通学者を100とした比率(%)

常住地、従業地・通学地の別等		千種区	東 区	北 区	西 区	中村区	中 区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港 区	南 区	守山区	緑 区	名東区	天白区
実 人 数	常住する就業者・通学者 ＜A＝①+②+③＞	84,807	37,587	90,480	79,481	73,218	37,221	59,992	58,243	35,417	117,305	82,402	77,956	86,065	117,234	83,761	86,117
	① 自区で従業・通学する者	30,623	13,824	36,150	34,775	36,604	22,516	21,702	19,607	12,928	50,387	43,045	34,607	31,438	40,719	26,636	29,623
	うち就業者	25,856	12,857	34,298	33,120	33,901	21,668	18,272	17,748	12,188	47,801	40,944	32,379	29,484	37,870	24,211	25,063
	うち通学者	4,767	967	1,852	1,655	2,703	848	3,430	1,859	740	2,586	2,101	2,228	1,954	2,849	2,425	4,560
	② 市内他区へ通勤・通学する者	43,585	19,011	38,935	30,761	26,568	11,003	31,575	31,356	17,820	50,386	28,362	31,932	36,099	47,585	41,397	42,049
	うち就業者	39,860	17,159	34,868	27,590	23,847	9,507	27,076	28,333	16,127	45,102	24,522	28,508	32,923	42,039	37,202	37,687
	うち通学者	3,725	1,852	4,067	3,171	2,721	1,496	4,499	3,023	1,693	5,284	3,840	3,424	3,176	5,546	4,195	4,362
	③ 他市町村へ通勤・通学する者	10,599	4,752	15,395	13,945	10,046	3,702	6,715	7,280	4,669	16,532	10,995	11,417	18,528	28,930	15,728	14,445
	うち就業者	9,088	4,059	13,917	12,651	8,933	3,115	5,686	6,373	4,048	14,705	9,988	10,195	16,152	26,075	12,916	12,469
	うち通学者	1,511	693	1,478	1,294	1,113	587	1,029	907	621	1,827	1,007	1,222	2,376	2,855	2,812	1,976
	区内で従業・通学する従業者・通学者 ＜①+④+⑤＞	101,233	83,193	72,060	86,901	174,759	296,602	72,901	57,753	59,724	94,141	100,203	76,447	59,815	67,338	59,561	65,151
	④ 市内他区から通勤・通学する者	39,119	37,752	17,047	20,829	56,395	140,309	29,303	23,203	26,185	24,043	32,794	23,538	10,822	12,450	15,627	19,008
	うち就業者	28,102	32,159	16,057	18,801	50,535	136,734	21,803	18,178	23,844	23,116	31,991	21,353	9,458	11,513	13,560	15,146
	うち通学者	11,017	5,593	990	2,028	5,860	3,575	7,500	5,025	2,341	927	803	2,185	1,364	937	2,067	3,862
	⑤ 他市町村から通勤・通学する者	31,491	31,617	18,863	31,297	81,760	133,777	21,896	14,943	20,611	19,711	24,364	18,302	17,555	14,169	17,298	16,520
	うち就業者	19,536	26,842	18,020	28,709	70,257	126,630	11,847	11,172	17,417	19,110	23,763	15,719	14,769	13,482	15,184	9,213
	うち通学者	11,955	4,775	843	2,588	11,503	7,147	10,049	3,771	3,194	601	601	2,583	2,786	687	2,114	7,307
A に 対 する 比 率 (%)	常住する就業者・通学者 ＜A＝①+②+③＞	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	① 自区で従業・通学する者	36.1	36.8	40.0	43.8	50.0	60.5	36.2	33.7	36.5	43.0	52.2	44.4	36.5	34.7	31.8	34.4
	うち就業者	30.5	34.2	37.9	41.7	46.3	58.2	30.5	30.5	34.4	40.7	49.7	41.5	34.3	32.3	28.9	29.1
	うち通学者	5.6	2.6	2.0	2.1	3.7	2.3	5.7	3.2	2.1	2.2	2.5	2.9	2.3	2.4	2.9	5.3
	② 市内他区へ通勤・通学する者	51.4	50.6	43.0	38.7	36.3	29.6	52.6	53.8	50.3	43.0	34.4	41.0	41.9	40.6	49.4	48.8
	うち就業者	47.0	45.7	38.5	34.7	32.6	25.5	45.1	48.6	45.5	38.4	29.8	36.6	38.3	35.9	44.4	43.8
	うち通学者	4.4	4.9	4.5	4.0	3.7	4.0	7.5	5.2	4.8	4.5	4.7	4.4	3.7	4.7	5.0	5.1
	③ 他市町村へ通勤・通学する者	12.5	12.6	17.0	17.5	13.7	9.9	11.2	12.5	13.2	14.1	13.3	14.6	21.5	24.7	18.8	16.8
	うち就業者	10.7	10.8	15.4	15.9	12.2	8.4	9.5	10.9	11.4	12.5	12.1	13.1	18.8	22.2	15.4	14.5
	うち通学者	1.8	1.8	1.6	1.6	1.5	1.6	1.7	1.6	1.8	1.6	1.2	1.6	2.8	2.4	3.4	2.3
	区内で従業・通学する従業者・通学者 ＜①+④+⑤＞	119.4	221.3	79.6	109.3	238.7	796.9	121.5	99.2	168.6	80.3	121.6	98.1	69.5	57.4	71.1	75.7
	④ 市内他区から通勤・通学する者	46.1	100.4	18.8	26.2	77.0	377.0	48.8	39.8	73.9	20.5	39.8	30.2	12.6	10.6	18.7	22.1
	うち就業者	33.1	85.6	17.7	23.7	69.0	367.4	36.3	31.2	67.3	19.7	38.8	27.4	11.0	9.8	16.2	17.6
	うち通学者	13.0	14.9	1.1	2.6	8.0	9.6	12.5	8.6	6.6	0.8	1.0	2.8	1.6	0.8	2.5	4.5
	⑤ 他市町村から通勤・通学する者	37.1	84.1	20.8	39.4	111.7	359.4	36.5	25.7	58.2	16.8	29.6	23.5	20.4	12.1	20.7	19.2
	うち就業者	23.0	71.4	19.9	36.1	96.0	340.2	19.7	19.2	49.2	16.3	28.8	20.2	17.2	11.5	18.1	10.7
	うち通学者	14.1	12.7	0.9	3.3	15.7	19.2	16.8	6.5	9.0	0.5	0.7	3.3	3.2	0.6	2.5	8.5

図5-1 15歳以上就業者・通学者の常住地・従業地・通学地別比率（各区の常住者の総数を100とした値）



V-2 区間の流入超過数では中区は全区でプラス、緑区は全区でマイナス

15 歳以上の就業・通学人口のうち、市内に常住し、市内他区へ通勤・通学している者について、各区分の状況をみると、中区への通勤・通学者の集中度が際立っており、全ての区について流入超過数がプラスとなっている。中村区についても中区を除く全区で流入超過数がプラスとなっているが、中区に比べると流入超過数は全区とも小さくなっている。千種区、東区及び熱田区でも大半の区との流入超過数がプラスとなっており、特に千種区、東区では守山区、緑区、名東区及び天白区（以下「市東部周辺 4 区」という。）との流入超過数が、熱田区では中川区や緑区との流入超過数が多くなっている。

昭和区や瑞穂区では、都心部の区との流入超過数ではマイナスとなっているが、その他周辺区との流入超過数は概ねプラスとなっている。北区、中川区、港区及び南区では市東部周辺 4 区との流入超過数はプラスとなっているが、その他の区については、概ねマイナスである。一方市東部周辺 4 区では、大半の区との流入超過数がマイナスとなっており、特に緑区では全ての区との流入超過数がマイナスとなっている。

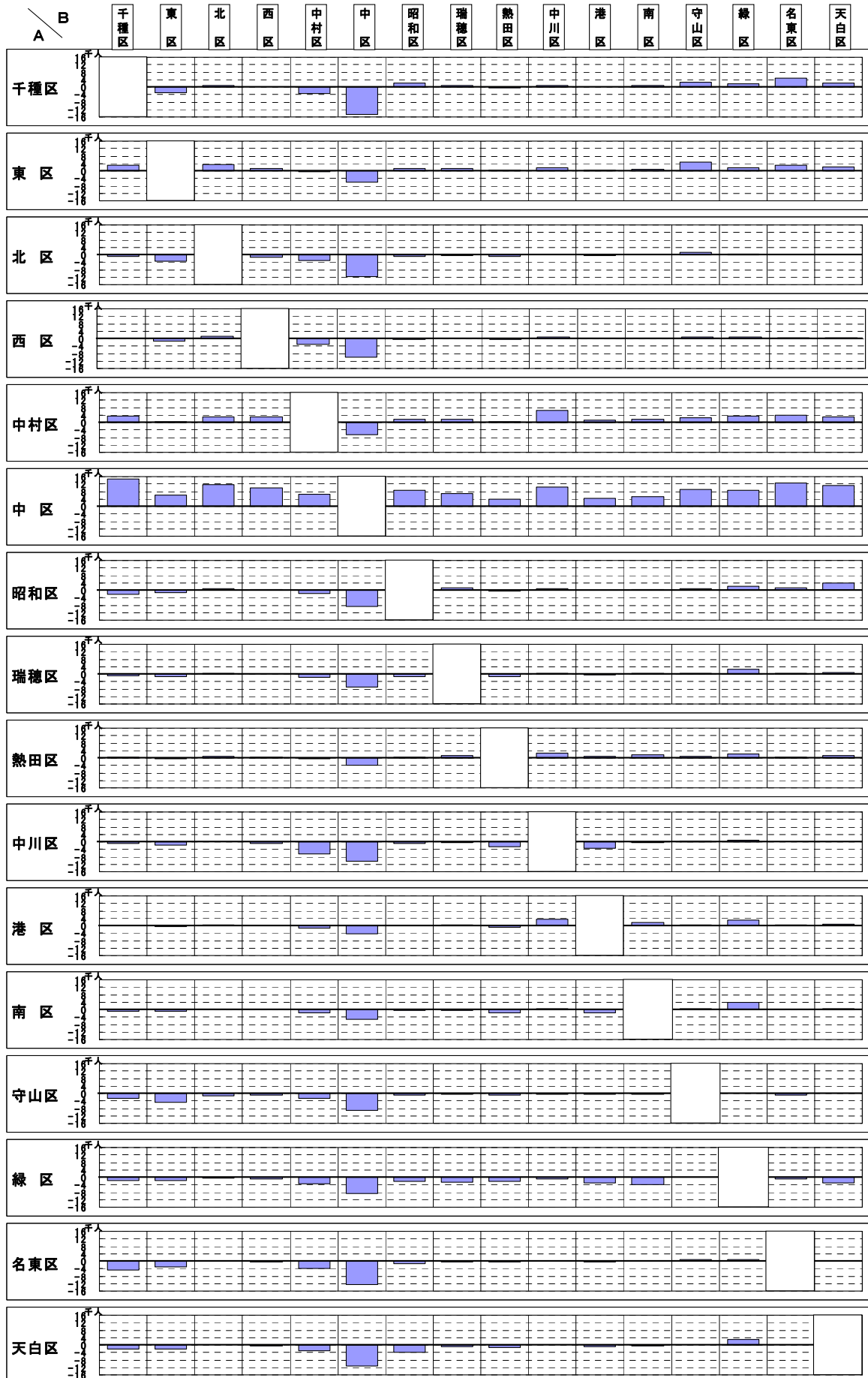
[付表 3-5、図 5-2]

付表 3-5 市内に常住し、市内他区に通勤・通学する 15 歳以上通勤・通学者の各区分間の通勤・通学者数及び流入超過数

		B 区																
		千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区	
A 区	千種区	BからAへ(流入数)		2,596	2,511	1,448	1,636	1,064	5,460	2,053	720	1,993	997	1,355	4,166	2,278	7,507	3,335
		AからBへ(流出数)		5,532	1,495	1,371	5,278	15,567	3,311	1,378	1,010	926	951	626	1,643	415	2,954	1,128
		流入超過数		-2,936	1,016	77	-3,642	-14,503	2,149	675	-290	1,067	46	729	2,523	1,863	4,553	2,207
	東区	BからAへ(流入数)	5,532		5,070	2,034	1,679	1,148	2,095	1,816	803	1,896	962	1,179	5,495	2,021	3,738	2,284
		AからBへ(流出数)	2,596		1,679	853	2,092	7,157	831	486	396	382	440	299	793	146	533	328
		流入超過数	2,936		3,391	1,181	-413	-6,009	1,264	1,330	407	1,514	522	880	4,702	1,875	3,205	1,956
	北区	BからAへ(流入数)	1,495	1,679		3,208	861	503	644	576	381	1,007	508	526	3,250	684	1,040	685
		AからBへ(流出数)	2,511	5,070		4,663	3,898	12,366	1,529	958	1,128	1,047	1,144	678	2,075	307	906	655
		流入超過数	-1,016	-3,391		-1,455	-3,037	-11,863	-885	-382	-747	-40	-636	-152	1,175	377	134	30
	西区	BからAへ(流入数)	1,371	853	4,663		2,701	694	924	780	532	2,173	839	772	1,417	990	1,111	1,009
		AからBへ(流出数)	1,448	2,034	3,208		5,735	10,477	1,261	781	964	1,280	977	612	592	278	566	548
		流入超過数	-77	-1,181	1,455		-3,034	-9,783	-337	-1	-432	893	-138	160	825	712	545	461
	中村区	BからAへ(流入数)	5,278	2,092	3,898	5,735		2,077	2,799	2,512	1,589	10,333	2,953	2,461	3,053	3,705	4,634	3,276
		AからBへ(流出数)	1,636	1,679	861	2,701		8,551	1,056	792	1,150	3,868	1,842	712	391	334	572	423
		流入超過数	3,642	413	3,037	3,034		-6,474	1,743	1,720	439	6,465	1,111	1,749	2,662	3,371	4,062	2,853
	中区	BからAへ(流入数)	15,567	7,157	12,366	10,477	8,551		10,013	7,373	4,721	11,061	4,998	5,777	9,358	8,711	12,796	11,383
		AからBへ(流出数)	1,064	1,148	503	694	2,077		1,206	521	830	898	587	439	198	218	285	335
		流入超過数	14,503	6,009	11,863	9,783	6,474		8,807	6,852	3,891	10,163	4,411	5,338	9,160	8,493	12,511	11,048
	昭和区	BからAへ(流入数)	3,311	831	1,529	1,261	1,056	1,206		3,612	866	1,747	964	1,541	1,384	2,803	1,925	5,267
		AからBへ(流出数)	5,460	2,095	644	924	2,799	10,013		2,490	1,213	877	839	922	437	547	797	1,518
		流入超過数	-2,149	-1,264	885	337	-1,743	-8,807		1,122	-347	870	125	619	947	2,256	1,128	3,749
	瑞穂区	BからAへ(流入数)	1,378	486	958	781	792	521	2,490		1,101	1,542	1,255	3,490	803	3,624	902	3,080
		AからBへ(流出数)	2,053	1,816	576	780	2,512	7,373	3,612		2,518	1,105	1,854	2,879	371	1,237	636	2,034
		流入超過数	-675	-1,330	382	1	-1,720	-6,852	-1,122		-1,417	437	-599	611	432	2,387	266	1,046
	熱田区	BからAへ(流入数)	1,010	396	1,128	964	1,150	830	1,213	2,518		4,604	3,547	3,050	858	2,618	829	1,470
		AからBへ(流出数)	720	803	381	532	1,589	4,721	866	1,101		1,963	2,645	1,249	179	433	251	387
		流入超過数	290	-407	747	432	-439	-3,891	347	1,417		2,641	902	1,801	679	2,185	578	1,083
中川区	BからAへ(流入数)	926	382	1,047	1,280	3,868	898	877	1,105	1,963		6,289	1,476	748	1,430	770	984	
	AからBへ(流出数)	1,993	1,896	1,007	2,173	10,333	11,061	1,747	1,542	4,604		9,592	1,876	416	710	664	772	
	流入超過数	-1,067	-1,514	40	-893	-6,465	-10,163	-870	-437	-2,641		-3,303	-400	332	720	106	212	
B 区	港区	BからAへ(流入数)	951	440	1,144	977	1,842	587	839	1,854	2,645	9,592		5,038	723	3,964	777	1,421
		AからBへ(流出数)	997	962	508	839	2,953	4,998	964	1,255	3,547	6,289		3,127	224	762	322	615
		流入超過数	-46	-522	636	138	-1,111	-4,411	-125	599	-902	3,303		1,911	499	3,202	455	806
	南区	BからAへ(流入数)	626	299	678	612	712	439	922	2,879	1,249	1,876	3,127		521	7,126	500	1,972
		AからBへ(流出数)	1,355	1,179	526	772	2,461	5,777	1,541	3,490	3,050	1,476	5,038		238	3,051	467	1,511
		流入超過数	-729	-880	152	-160	-1,749	-5,338	-619	-611	-1,801	400	-1,911		283	4,075	33	461
	守山区	BからAへ(流入数)	1,643	793	2,075	592	391	198	437	371	179	416	224	238		454	2,278	533
		AからBへ(流出数)	4,166	5,495	3,250	1,417	3,053	9,358	1,384	803	858	748	723	521		313	3,304	706
		流入超過数	-2,523	-4,702	-1,175	-825	-2,662	-9,160	-947	-432	-679	-332	-499	-283		141	-1,026	-173
	緑区	BからAへ(流入数)	415	146	307	278	334	218	547	1,237	433	710	762	3,051	313		526	3,173
		AからBへ(流出数)	2,278	2,021	684	990	3,705	8,711	2,803	3,624	2,618	1,430	3,964	7,126	454		1,193	5,984
		流入超過数	-1,863	-1,875	-377	-712	-3,371	-8,493	-2,256	-2,387	-2,185	-720	-3,202	-4,075	-141		-667	-2,811
	名東区	BからAへ(流入数)	2,954	533	906	566	572	285	797	636	251	664	322	467	3,304	1,193		2,177
		AからBへ(流出数)	7,507	3,738	1,040	1,111	4,634	12,796	1,925	902	829	770	777	500	2,278	526		2,064
		流入超過数	-4,553	-3,205	-134	-545	-4,062	-12,511	-1,128	-266	-578	-106	-455	-33	1,026	667		113
	天白区	BからAへ(流入数)	1,128	328	655	548	423	335	1,518	2,034	387	772	615	1,511	706	5,984	2,064	
		AからBへ(流出数)	3,335	2,284	685	1,009	3,276	11,383	5,267	3,080	1,470	984	1,421	1,972	533	3,173	2,177	
		流入超過数	-2,207	-1,956	-30	-461	-2,853	-11,048	-3,749	-1,046	-1,083	-212	-806	-461	173	2,811	-113	

図5-2 市内に常住し、市内他区に通勤・通学する15歳以上通勤・通学者の各区間の流入超過数

「各B区からA区へ通勤・通学する数(流入数)」から「A区から各B区へ通勤・通学する数(流出数)」を差し引いた数



V-3 流入数では春日井市が、流出数では豊田市が全区で10位以内

15歳以上の就業・通学人口の市外からの流入数について、区別の上位10市町村をみると、本市への流入数が1位となっている春日井市は全区で、2位の一宮市は緑区を除く15区で上位10位以内に位置している。両市からは特に中区への流入数が多く、春日井市からは11,688人、一宮市からは9,834人と本市への流入数（44,580人、32,212人）のそれぞれ25%以上、30%以上を占めている。

その他の市町村では、3位の日進市からの流入については最多の中区を始め、千種区、昭和区、名東区、天白区等、同市との隣接区及び中区までの地下鉄路線のある区への流入が多くなっている。他県の都市で本市への流入数が8位となっている岐阜市については中区、中村区への流入数が多く、この2区で7,056人と、本市への流入数の50%を超えている。

区別の特徴をみると、北区、西区では本市の北西部の各市町村からの流入、中川区では本市西部の市町村からの流入がそれぞれ多くなっている。また中村区では10位までに桑名市と四日市市が入っており、三重県からJR線や近鉄線沿線を使っの通勤・通学者も多いものと思われる。

一方、本市から他市町村への流出数について、区別の上位10市町村をみると、本市からの流出数が1位となっている春日井市は南区、緑区を除く14区で上位10位以内に位置している。区別では北区及び守山区からの流出が多く、2区で7,758人と、本市の流出数（14,722人）の50%を超えている。

2位の豊田市は全区で上位10位以内に位置している。区別では緑区、名東区及び天白区で千人以上の流出となっており、当該3区で7,137人と本市の流出数（14,089人）の約50%となっている。

その他の市町村では、3位の日進市は緑区、名東区及び天白区で、4位の長久手町は千種区、守山区及び名東区で千人以上の流出となっており、2位から4位を占める、本市東部周辺の3市町への市東部の区からの流出数が目立って多くなっている。

区別の特徴をみると、本市周辺区から近郊市町村への流出が多くなっており、特に緑区では豊明市への4,247人の流出を始め、上位7市町村までが千人を超える流出数となっており、本市以外の近郊市町村のベッドタウン的な側面を併せ持っている。

[付表5-3、付表5-4]

付表5-3 他市町から本市・各区へ通勤・通学する15歳以上の就業者・通学者（上位10市町）

区分	順位	全市		千種区		東区		北区		西区		中村区	
		市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数
流入数	①	春日井市	44,580	春日井市	3,418	春日井市	4,412	春日井市	4,320	一宮市	2,891	一宮市	6,368
	②	一宮市	32,212	一宮市	1,709	一宮市	1,882	小牧市	1,458	清須市	2,495	春日井市	4,885
	③	日進市	16,771	日進市	1,633	尾張旭市	1,723	一宮市	1,115	師勝町	2,242	稲沢市	3,524
	④	尾張旭市	16,678	尾張旭市	1,469	瀬戸市	1,698	師勝町	781	春日井市	2,178	岐阜市	2,934
	⑤	稲沢市	16,534	瀬戸市	1,270	小牧市	1,073	豊山町	746	西春町	1,873	桑名市	2,342
	⑥	瀬戸市	15,436	長久手町	1,225	多治見市	1,024	尾張旭市	724	稲沢市	1,628	清須市	2,222
	⑦	東海市	13,805	小牧市	917	日進市	929	瀬戸市	643	小牧市	1,081	四日市市	2,024
	⑧	岐阜市	12,555	豊田市	901	稲沢市	853	稲沢市	524	江南市	985	大治町	2,021
	⑨	小牧市	12,481	岡崎市	834	岐阜市	771	清須市	500	岩倉市	965	岡崎市	1,984
	⑩	岡崎市	11,869	岐阜市	768	岡崎市	716	犬山市	450	甚目寺町	723	津島市	1,927
区分	順位	中区		昭和区		瑞穂区		熱田区		中川区		港区	
		市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数
流入数	①	春日井市	11,688	春日井市	1,710	春日井市	1,061	一宮市	1,398	蟹江町	1,258	東海市	1,755
	②	一宮市	9,834	一宮市	1,207	一宮市	826	春日井市	1,254	大治町	1,189	知多市	1,254
	③	稲沢市	4,526	日進市	1,195	豊明市	631	東海市	822	一宮市	1,165	一宮市	1,140
	④	岐阜市	4,122	豊田市	816	日進市	587	稲沢市	758	津島市	988	蟹江町	1,032
	⑤	尾張旭市	3,964	岡崎市	688	東海市	533	知多市	680	愛西市	967	春日井市	1,011
	⑥	瀬戸市	3,899	瀬戸市	605	岡崎市	471	岡崎市	675	春日井市	949	桑名市	994
	⑦	日進市	3,796	岐阜市	577	稲沢市	449	豊明市	556	七宝町	852	弥富町	899
	⑧	岡崎市	3,693	稲沢市	566	知多市	418	大府市	502	稲沢市	832	愛西市	803
	⑨	桑名市	3,426	尾張旭市	552	小牧市	404	岐阜市	500	弥富町	754	稲沢市	797
	⑩	小牧市	3,131	小牧市	516	豊田市	354	半田市	483	甚目寺町	672	津島市	718
区分	順位	南区		守山区		緑区		名東区		天白区			
		市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数		
流入数	①	東海市	2,843	春日井市	4,412	豊明市	2,408	日進市	2,430	日進市	2,101		
	②	知多市	1,542	尾張旭市	3,138	大府市	1,474	長久手町	2,275	東郷町	980		
	③	豊明市	1,100	瀬戸市	2,154	東海市	1,390	尾張旭市	1,781	豊田市	901		
	④	大府市	943	小牧市	637	東郷町	724	瀬戸市	1,614	春日井市	793		
	⑤	一宮市	655	多治見市	577	日進市	598	春日井市	1,492	一宮市	577		
	⑥	春日井市	651	長久手町	558	刈谷市	564	一宮市	607	豊明市	508		
	⑦	半田市	557	一宮市	507	知多市	546	豊田市	528	三好町	458		
	⑧	刈谷市	429	日進市	389	豊田市	404	東郷町	388	岡崎市	439		
	⑨	岡崎市	428	豊田市	245	岡崎市	384	小牧市	336	瀬戸市	437		
	⑩	東浦町	427	稲沢市	233	春日井市	346	多治見市	272	岐阜市	416		

付表5-4 本市・各区から他市町村へ通勤・通学する15歳以上の就業者・通学者(上位10市町村)

区分	順位	全市		千種区		東区		北区		西区		中村区	
		市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数
流出数	①	春日井市	14,722	長久手町	1,019	春日井市	649	春日井市	3,143	清須市	1,430	清須市	602
	②	豊田市	14,089	春日井市	912	小牧市	387	小牧市	2,412	小牧市	1,183	小牧市	543
	③	日進市	10,919	豊田市	843	豊田市	272	豊山町	1,061	西春町	1,140	春日井市	443
	④	長久手町	9,520	日進市	746	瀬戸市	239	清須市	493	春日井市	967	一宮市	405
	⑤	小牧市	9,199	瀬戸市	549	長久手町	238	一宮市	492	師勝町	837	甚目寺町	383
	⑥	刈谷市	8,627	小牧市	501	尾張旭市	187	師勝町	473	一宮市	817	大治町	378
	⑦	東海市	7,805	刈谷市	413	日進市	180	豊田市	460	稲沢市	632	豊田市	376
	⑧	豊明市	7,254	尾張旭市	375	豊山町	166	瀬戸市	452	春日町	492	稲沢市	362
	⑨	大府市	6,946	一宮市	286	一宮市	140	西春町	421	豊田市	449	刈谷市	343
	⑩	瀬戸市	6,313	岡崎市	248	刈谷市	138	稲沢市	361	豊山町	402	津島市	306
区分	順位	中区		昭和区		瑞穂区		熱田区		中川区		港区	
		市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町村名	人数	市町村名	人数	市町村名	人数
流出数	①	豊田市	246	豊田市	845	豊田市	620	刈谷市	327	蟹江町	1,160	飛島村	1,984
	②	刈谷市	230	日進市	514	日進市	449	東海市	303	飛島村	1,120	東海市	869
	③	春日井市	225	長久手町	377	刈谷市	417	飛島村	252	津島市	686	弥富町	686
	④	日進市	174	春日井市	367	東海市	394	豊田市	251	弥富町	663	豊田市	448
	⑤	小牧市	152	刈谷市	316	春日井市	347	常滑市	208	大治町	651	刈谷市	406
	⑥	東海市	129	小牧市	258	大府市	300	岡崎市	177	東海市	622	蟹江町	398
	⑦	長久手町	124	三好町	218	豊明市	288	日進市、春日井市	165	刈谷市	569	大府市	370
	⑧	岡崎市	121	瀬戸市	200	小牧市	280	-	-	春日井市	560	十四山村	307
	⑨	一宮市	117	東海市	175	岡崎市	264	大府市	151	稲沢市	556	日進市	272
	⑩	岐阜市	105	一宮市	165	長久手町	259	小牧市	148	豊田市	551	春日井市	262
区分	順位	南区		守山区		緑区		名東区		天白区			
		市町村名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数		
流出数	①	東海市	1,874	春日井市	4,615	豊明市	4,247	長久手町	3,318	豊田市	2,935		
	②	大府市	954	尾張旭市	2,753	大府市	3,379	日進市	2,359	日進市	2,431		
	③	豊田市	708	瀬戸市	2,079	刈谷市	2,935	豊田市	1,561	三好町	919		
	④	刈谷市	707	長久手町	1,400	豊田市	2,641	瀬戸市	945	東郷町	753		
	⑤	豊明市	541	小牧市	1,284	東海市	2,093	春日井市	878	長久手町	673		
	⑥	知多市	479	豊田市	883	日進市	1,337	尾張旭市	852	刈谷市	619		
	⑦	日進市	389	日進市	606	岡崎市	1,236	小牧市	469	豊明市	589		
	⑧	飛島村	366	一宮市	285	三好町	974	三好町	415	春日井市	431		
	⑨	岡崎市	363	刈谷市	262	安城市	963	刈谷市	373	東海市	355		
	⑩	安城市	330	稲沢市	248	東郷町	888	岡崎市	276	大府市、瀬戸市	336		

付表5-5 市町村、流入区別流入超過数の上位・下位20

また、流入数から流出数を差し引いた流入超過数を、区別・市町村別にみると、流入超過数では中区・中村区への流入超過数が上位を占め、特に中区ではトップの春日井市との流入超過数は1万人を超えており、以下14市町との流入超過が20位までに並ぶ。

また、他県との流入超過数も、岐阜市と中区が6位、桑名市と中区が12位、岐阜市と中村区が16位、四日市市と中区が19位と、都心部との流入に限ってはかなりの流入超過数となっている。

一方、流出超過に当たる下位20位をみると、緑区からの流出が10市町入っているのを始め、守山区、名東区、天白区等の市東部区からの流出超過が目立っている。

特に豊田市へは4区が、長久手町へは3区が20位以内に入っているのを始め、豊明市、日進市、三好町等の東部近郊市町との流出超過が顕著である。

[付表5-5]

流入超過数の上位20				流入超過数の下位20			
順位	流入先	→ 流入区	流入超過数	順位	流出区	→ 流出先	流入超過数
1	春日井市	→ 中区	11,463	1	緑区	→ 刈谷市	-2,371
2	一宮市	→ 中区	9,717	2	緑区	→ 豊田市	-2,237
3	一宮市	→ 中村区	5,963	3	天白区	→ 豊田市	-2,034
4	稲沢市	→ 中区	4,451	4	緑区	→ 大府市	-1,905
5	春日井市	→ 中村区	4,442	5	港区	→ 飛島村	-1,849
6	岐阜市	→ 中区	4,017	6	緑区	→ 豊明市	-1,839
7	尾張旭市	→ 中区	3,909	7	中川区	→ 飛島村	-1,044
8	瀬戸市	→ 中区	3,808	8	名東区	→ 長久手町	-1,043
9	春日井市	→ 東区	3,763	9	名東区	→ 豊田市	-1,033
10	日進市	→ 中区	3,622	10	北区	→ 小牧市	-954
11	岡崎市	→ 中区	3,572	11	緑区	→ 岡崎市	-852
12	桑名市	→ 中区	3,386	12	守山区	→ 長久手町	-842
13	稲沢市	→ 中村区	3,162	13	緑区	→ 三好町	-771
14	小牧市	→ 中区	2,979	14	緑区	→ 日進市	-739
15	多治見市	→ 中区	2,812	15	緑区	→ 東海市	-703
16	岐阜市	→ 中村区	2,721	16	緑区	→ 安城市	-650
17	江南市	→ 中区	2,543	17	守山区	→ 小牧市	-647
18	春日井市	→ 千種区	2,506	18	守山区	→ 豊田市	-638
19	四日市市	→ 中区	2,464	19	天白区	→ 三好町	-461
20	長久手町	→ 中区	2,449	20	緑区	→ 長久手町	-425

V-4 「情報通信業」「金融・保険業」「公務（他に分類されないもの）」等では他市町村からの通勤者が中区に集中

15歳以上の就業者数を、区別及び主な産業（大分類）別、かつ常驻地及び従業地の区分別にみると、「建設業」は、常驻地ベースでは唯一1万人を越えている中川区を始め、周辺区が多くなっているが、従業地ベースでは他区や市外からの通勤者の多い中区や中村区が上位をしめている。特に中区は従業地ベースの就業者の95%以上が区外からの通勤者となっている。

「製造業」は、常驻地ベースでは緑区、中川区、南区、港区の順に多く、上位2区が2万人を超えており、従業地ベースでも、港区、中川区、南区が上位3区となっている。一方、緑区は他区への通勤者及び市外への通勤者とも最も多くなっており、従業地ベースでは7位となっている。

「電気・ガス・熱供給・水道業」は、常驻地ベースでは名東区、緑区、中川区の順となっているが、各区とも他区、市外へ通勤しているものが多く、自区で就業している者は各区とも100人未満となっている。一方、従業地ベースでは東区、中区、熱田区の順となっているが、従業地ベースの就業者の多い区では、その大半が区外からの通勤者となっており、東区では約99%が区外からの通勤者となっている。

「情報通信業」は、常驻地ベースでは大半の区で千人以上の就業者が在住しているが、中区を除く各区では大半が自区外へ通勤している。一方中区では、そうした通勤者の多くを受け入れるとともに、それを上回る数を市外からも受け入れており、従業地ベースの就業者数は26,360人で全市（53,353人）の50%弱と飛びぬけて多くなっている。

「運輸業」は、常驻地ベースでは港区が10,907人と唯一1万人を超えており、その6割以上が自区で従業している。2位の中川区では自区の就業者は常住する就業者の3分の1強である。従業地ベースでも、港区は区外から多くの通勤者がありトップとなっているが、2位には区外からの通勤者数で中川区を上回る中村区が続き、中川区は3位となっている。

「卸売・小売業」は、常驻地ベースでは、中川区、緑区、名東区と続くが、いずれの区も区外への通勤者が多くなっている。対して従業地ベースでは、区外からの通勤者がそれぞれ6万人超、3万人超となっている中区、中村区が1、2位を占め、中川区は3位にとどまっている。

「金融・保険業」は、常驻地ベースでは、千種区の3,051人をトップに、その他の区では1,000人弱～2,500人強となっているが、「情報通信業」と同様に中区を除く各区では大半が区外へ通勤している。一方中区では、そうした通勤者の多くを受け入れるとともに、市外からの受け入れも多く、従業地ベースの就業者数は24,457人で全市（44,037人）の50%強となっている。

「不動産業」は、常驻地ベースでは、千種区の2,306人をトップに、その他の大半の区が千人台となっている。一方従業地ベースでは、区外及び市外からの通勤者の大部分が、中区、中村区に集中しており、結果、この2区の従業地ベースの就業者数（10,400人）は総数（26,185人）の40%弱を占めている。

「飲食店、宿泊業」は、常驻地ベースでは、中川区、中村区、千種区の順となっている。一方従業地ベースの就業者数は、中区、中村区、千種区の順で、区外からの通勤者数の順位がそのまま反映されており、上位3区（39,293人）で総数（82,996人）の50%弱を占めている。

「医療、福祉」は、常驻地ベースでは緑区、中川区、天白区の順となっている。うち、緑区及び天白区は、区外へ通勤する者が多く、従業地ベースではそれぞれ3千人強、千人強減少している。対して区外からの通勤者数の多い中村区及び中区は、従業地ベースでの就業者数の、それぞれ1位及び3位となっている。

「教育、学習支援業」は、常驻地ベースでは緑区、千種区、名東区の順となっている。うち、緑区及び名東区は、区外へ通勤する者が3千人以上あるため、従業地ベースでは7位及び6位となっている。一方、千種区は7千人を超える区外からの通勤者があり、従業地ベースでのトップとなっている。その他の区についても、緑区を除く区で区外からの通勤者が自区内での就業者数を上回っている。

「サービス業（他に分類されないもの）」は、常驻地ベースでは、中川区、緑区、北区の順となっているが、中村区及び中区を除く14区で、区外へ通勤する者が自区で就業する者を上回っている。特に守山区、緑区、名東区及び天白区の東部周辺区ではその差が4千人以上となっている。従業地ベースでは中区が60,487人と総数（233,110人）の約25%を占めてトップとなっている。

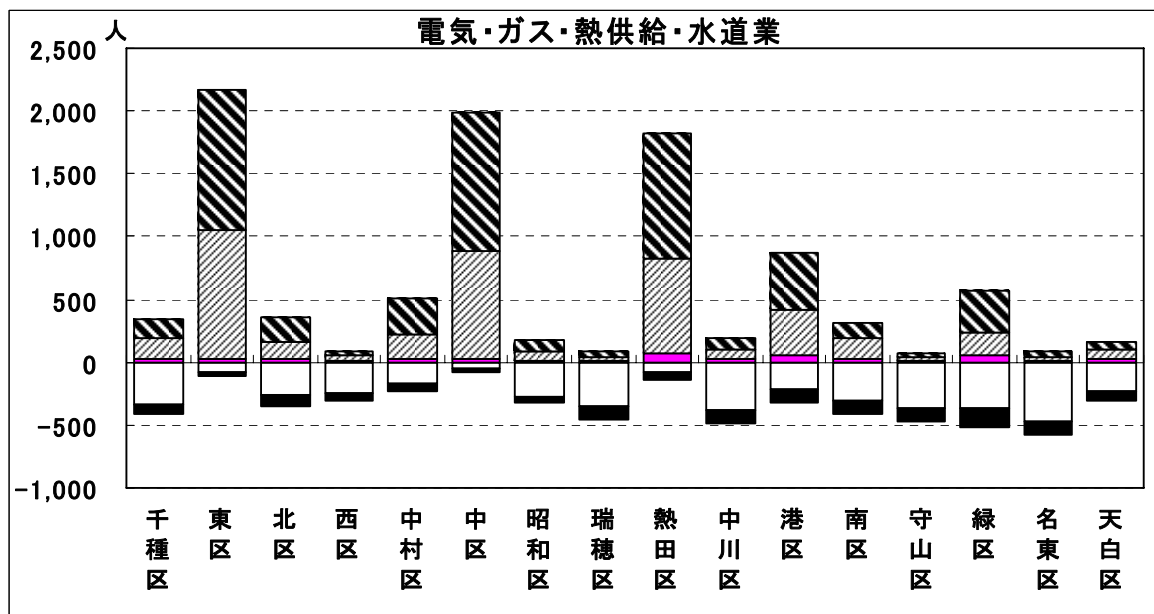
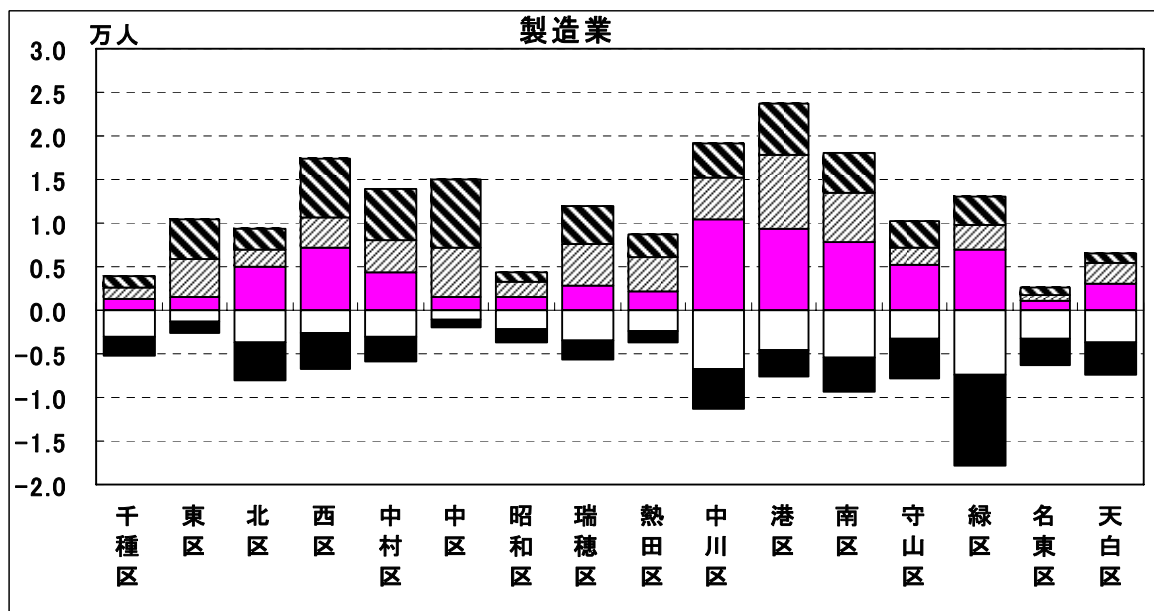
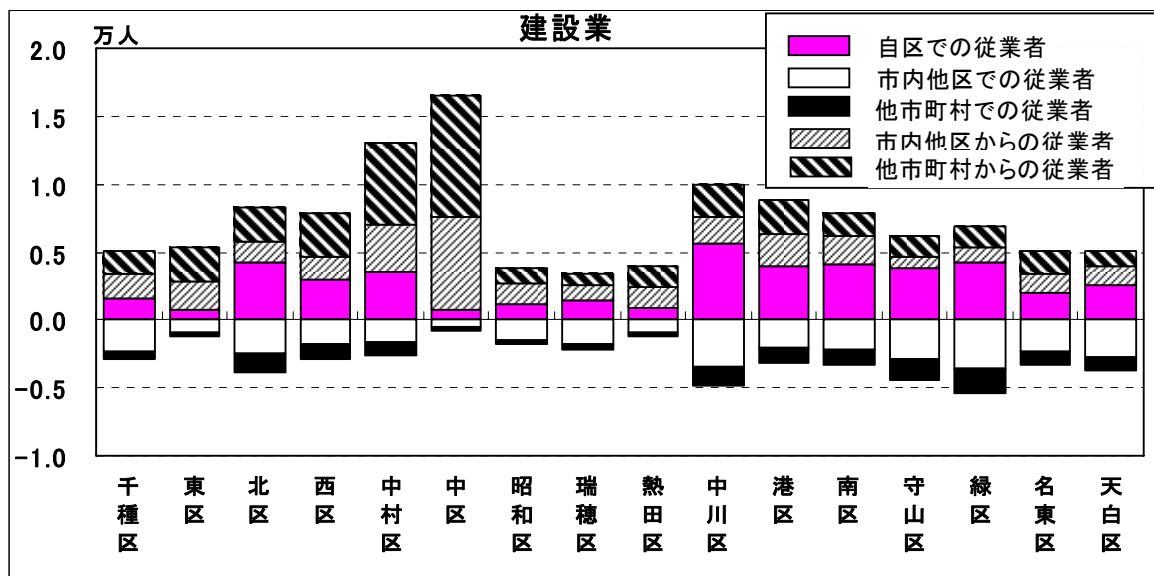
「公務（他に分類されないもの）」は、常驻地ベースでは、守山区と千種区で3千人以上でほぼ同数となっている。うち守山区では、自区で就業するものが46%あるのに対し、千種区では26%と両区の通勤形態にはかなりの差が見られる。一方、従業地ベースでは官公庁の集中している中区が16,587人と圧倒的に多く、総数（37,414人）の44%となっている。また、他市町村から通勤する者は8,713人と、総数（16,324人）の50%以上が中区へ通勤している。

【付表5-6、図5-3】

付表5-6 常住地又は従業地による主な産業(大分類)別、区別15歳以上就業者数 I

	常住地による15歳以上就業者数					従業地による15歳以上就業者数				
	総数	順位	自宅または 自区内で 従業	市内 他区 で従業	市 内 他 町 村 で従業	総数	順位	自宅または 自区内で 従業	市内 他区 に常住	市 内 他 町 村 に常住
建設業										
名古屋市区	90,824	-	43,458	33,147	14,219	117,200	-	43,458	33,147	40,595
千種区	4,466	⑪	1,576	2,262	628	5,050	⑬	1,576	1,764	1,710
東区	1,943	⑮	753	924	266	5,315	⑩	753	2,125	2,437
北区	8,013	④	4,218	2,517	1,278	8,244	⑤	4,218	1,569	2,457
西区	5,804	⑨	2,967	1,816	1,021	7,849	⑦	2,967	1,694	3,188
中村区	6,101	⑧	3,500	1,677	924	13,002	②	3,500	3,583	5,919
中区	1,508	⑯	782	541	185	16,558	①	782	6,841	8,935
昭和区	2,974	⑬	1,199	1,424	351	3,805	⑮	1,199	1,487	1,119
瑞穂区	3,691	⑫	1,464	1,782	445	3,384	⑯	1,464	1,025	895
熱田区	2,031	⑭	825	915	291	3,988	⑭	825	1,579	1,584
中川区	10,434	①	5,559	3,391	1,484	9,932	③	5,559	2,088	2,285
港区	7,041	⑥	3,903	2,094	1,044	8,863	④	3,903	2,471	2,489
南区	7,386	⑤	4,139	2,209	1,038	7,870	⑥	4,139	2,064	1,667
守山区	8,177	③	3,758	2,931	1,488	6,213	⑨	3,758	923	1,532
緑区	9,603	②	4,168	3,544	1,891	6,907	⑧	4,168	1,197	1,542
名東区	5,309	⑩	2,058	2,349	902	5,101	⑫	2,058	1,307	1,736
天白区	6,343	⑦	2,589	2,771	983	5,119	⑪	2,589	1,430	1,100
製造業										
名古屋市区	182,276	-	71,272	57,377	53,627	188,085	-	71,272	57,377	59,436
千種区	6,409	⑫	1,293	3,110	2,006	3,814	⑮	1,293	1,270	1,251
東区	4,065	⑮	1,457	1,354	1,254	10,523	⑨	1,457	4,481	4,585
北区	13,016	⑦	5,007	3,708	4,301	9,267	⑪	5,007	1,902	2,358
西区	13,972	⑤	7,191	2,654	4,127	17,315	④	7,191	3,456	6,668
中村区	10,082	⑨	4,256	3,092	2,734	13,950	⑥	4,256	3,793	5,901
中区	3,379	⑯	1,485	1,089	805	15,048	⑤	1,485	5,742	7,821
昭和区	5,311	⑭	1,554	2,217	1,540	4,374	⑭	1,554	1,701	1,119
瑞穂区	8,550	⑩	2,914	3,529	2,107	11,910	⑧	2,914	4,661	4,335
熱田区	5,751	⑬	2,080	2,389	1,282	8,739	⑫	2,080	3,987	2,672
中川区	21,802	②	10,528	6,698	4,576	19,073	②	10,528	4,748	3,797
港区	17,043	④	9,391	4,469	3,183	23,777	①	9,391	8,455	5,931
南区	17,164	③	7,815	5,492	3,857	18,033	③	7,815	5,576	4,642
守山区	13,034	⑥	5,208	3,336	4,490	10,169	⑩	5,208	1,897	3,064
緑区	24,905	①	7,043	7,304	10,558	12,999	⑦	7,043	2,727	3,229
名東区	7,284	⑪	1,017	3,288	2,979	2,648	⑯	1,017	659	972
天白区	10,509	⑧	3,033	3,648	3,828	6,446	⑬	3,033	2,322	1,091
電気・ガス・熱供給・水道業										
名古屋市区	5,934	-	446	4,207	1,281	9,810	-	446	4,207	5,157
千種区	444	⑥	27	337	80	345	⑧	27	167	151
東区	129	⑮	24	84	21	2,169	①	24	1,033	1,112
北区	369	⑨	23	259	87	360	⑦	23	133	204
西区	322	⑫	13	248	61	86	⑬	13	36	37
中村区	262	⑬	32	172	58	514	⑥	32	197	285
中区	97	⑯	24	47	26	1,990	②	24	857	1,109
昭和区	340	⑩	13	277	50	172	⑪	13	79	80
瑞穂区	458	⑤	6	353	99	83	⑭	6	33	44
熱田区	204	⑭	67	87	50	1,822	③	67	753	1,002
中川区	507	③	24	375	108	194	⑩	24	84	86
港区	383	⑧	58	223	102	878	④	58	354	466
南区	443	⑦	32	301	110	320	⑨	32	156	132
守山区	491	④	15	371	105	66	⑯	15	23	28
緑区	569	②	56	368	145	563	⑤	56	186	321
名東区	593	①	11	475	107	83	⑭	11	36	36
天白区	323	⑪	21	230	72	165	⑫	21	80	64

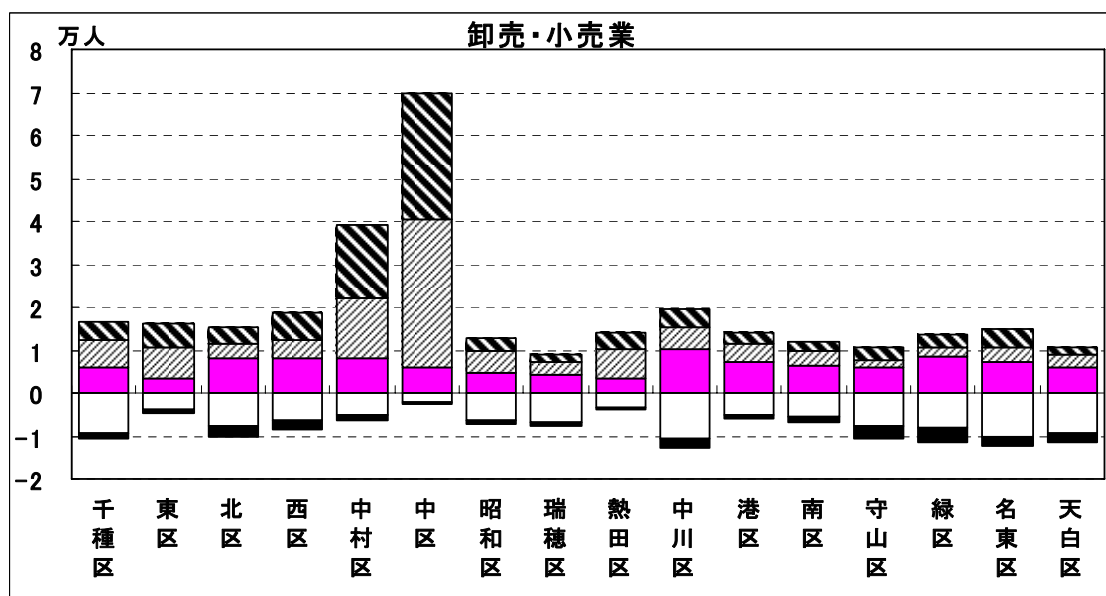
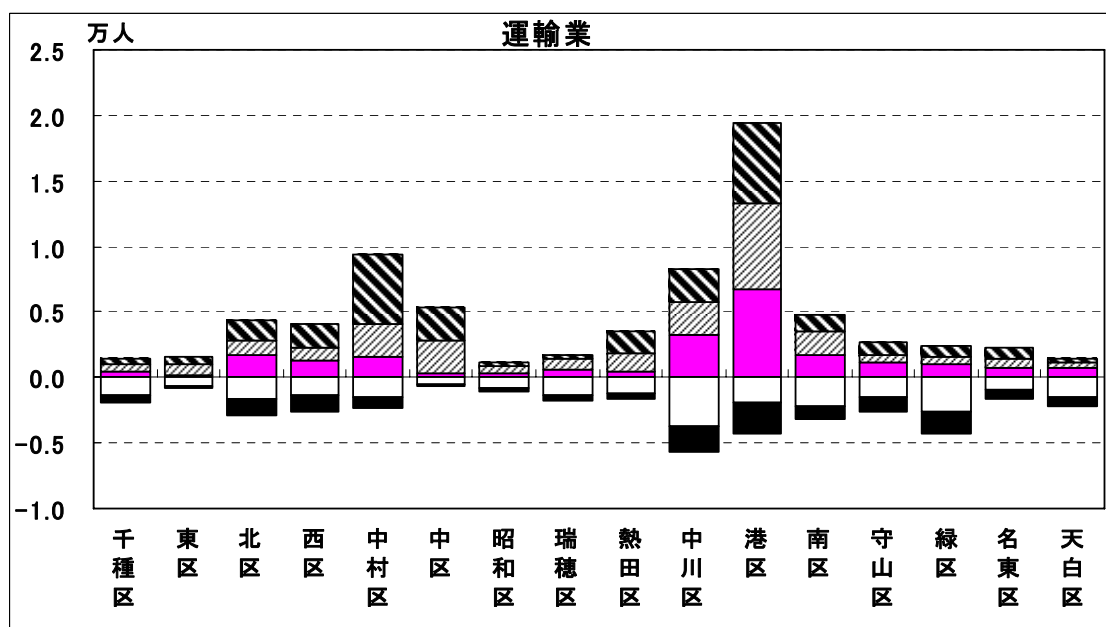
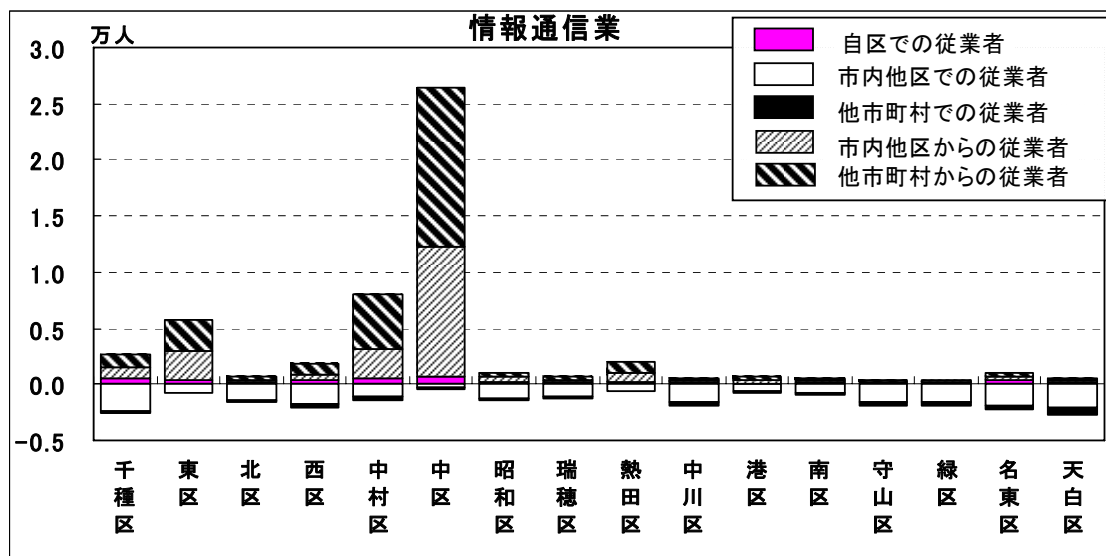
図5-3 常住地又は従業地による主な産業（大分類）別、区別15歳以上就業者数 I



付表5-6 常住地又は従業地による主な産業(大分類)別、区別15歳以上就業者数 II

	常住地による15歳以上就業者数					従業地による15歳以上就業者数				
	総数	順位	自宅または自区内で従業	市内他区で従業	市町村で従業	総数	順位	自宅または自区内で従業	市内他区に常住	市町村に常住
情報通信業										
名古屋市区	29,665	-	5,046	20,941	3,678	53,353	-	5,046	20,941	27,366
千種区	3,152	①	546	2,351	255	2,717	④	546	904	1,267
東区	1,176	⑬	376	697	103	5,767	③	376	2,552	2,839
北区	1,923	⑨	270	1,478	175	768	⑨	270	180	318
西区	2,465	④	424	1,752	289	1,838	⑥	424	514	900
中村区	1,942	⑧	580	1,152	210	8,051	②	580	2,615	4,856
中川区	1,207	⑫	737	352	118	26,360	①	737	11,478	14,145
昭和区	1,726	⑩	228	1,309	189	1,068	⑦	228	489	351
瑞穂区	1,465	⑪	161	1,160	144	651	⑪	161	226	264
熱田区	803	⑯	162	543	98	1,968	⑤	162	875	931
中川区	2,078	⑥	207	1,606	265	583	⑫	207	149	227
港南区	856	⑮	118	638	100	707	⑩	118	269	320
南区	1,129	⑭	156	837	136	576	⑬	156	166	254
守山区	2,064	⑦	192	1,608	264	392	⑮	192	77	123
緑区	2,142	⑤	237	1,524	381	364	⑯	237	59	68
名東区	2,576	③	410	1,884	282	1,033	⑧	410	259	364
天白区	2,961	②	242	2,050	669	510	⑭	242	129	139
運輸業										
名古屋市区	61,801	-	22,229	24,577	14,995	73,737	-	22,229	24,577	26,931
千種区	2,252	⑫	398	1,309	545	1,482	⑭	398	562	522
東区	1,067	⑮	240	604	223	1,636	⑬	240	760	636
北区	4,639	⑤	1,708	1,643	1,288	4,402	⑥	1,708	1,169	1,525
西区	3,895	⑥	1,341	1,299	1,255	4,077	⑦	1,341	936	1,800
中村区	3,842	⑧	1,535	1,440	867	9,391	②	1,535	2,585	5,271
中川区	1,011	⑯	300	531	180	5,296	④	300	2,510	2,486
昭和区	1,489	⑭	357	866	266	1,186	⑯	357	563	266
瑞穂区	2,271	⑪	557	1,309	405	1,697	⑫	557	821	319
熱田区	2,078	⑬	454	1,222	402	3,502	⑧	454	1,428	1,620
中川区	8,952	②	3,294	3,754	1,904	8,235	③	3,294	2,520	2,421
港南区	10,907	①	6,677	1,938	2,292	19,391	①	6,677	6,609	6,105
南区	4,889	④	1,663	2,166	1,060	4,752	⑤	1,663	1,824	1,265
守山区	3,893	⑦	1,215	1,464	1,214	2,679	⑨	1,215	537	927
緑区	5,398	③	1,085	2,602	1,711	2,353	⑩	1,085	533	735
名東区	2,388	⑩	711	991	686	2,214	⑪	711	742	761
天白区	2,830	⑨	694	1,439	697	1,444	⑮	694	478	272
卸売・小売業										
名古屋市区	236,001	-	103,118	108,284	24,599	306,995	-	103,118	108,284	95,593
千種区	16,786	⑦	6,062	9,482	1,242	16,538	⑤	6,062	6,435	4,041
東区	7,752	⑮	3,252	3,883	617	16,211	⑥	3,252	7,378	5,581
北区	18,296	④	8,138	7,775	2,383	15,256	⑦	8,138	3,350	3,768
西区	16,826	⑥	8,288	6,443	2,095	18,706	④	8,288	4,239	6,179
中村区	14,317	⑨	8,060	5,053	1,204	39,283	②	8,060	14,031	17,192
中川区	8,651	⑭	5,958	2,198	495	69,584	①	5,958	34,382	29,244
昭和区	11,669	⑬	4,623	6,258	788	12,565	⑫	4,623	5,121	2,821
瑞穂区	11,678	⑫	4,148	6,701	829	8,905	⑯	4,148	3,154	1,603
熱田区	7,460	⑯	3,566	3,378	516	14,012	⑩	3,566	6,530	3,916
中川区	23,056	①	10,351	10,442	2,263	19,651	③	10,351	4,965	4,335
港南区	13,341	⑩	7,184	5,104	1,053	14,192	⑨	7,184	4,462	2,546
南区	13,139	⑪	6,173	5,739	1,227	11,959	⑬	6,173	3,462	2,324
守山区	16,466	⑧	5,965	7,823	2,678	10,813	⑮	5,965	1,751	3,097
緑区	19,964	②	8,497	8,296	3,171	13,425	⑪	8,497	2,295	2,633
名東区	19,509	③	7,056	10,158	2,295	15,045	⑧	7,056	3,613	4,376
天白区	17,091	⑤	5,797	9,551	1,743	10,850	⑭	5,797	3,116	1,937

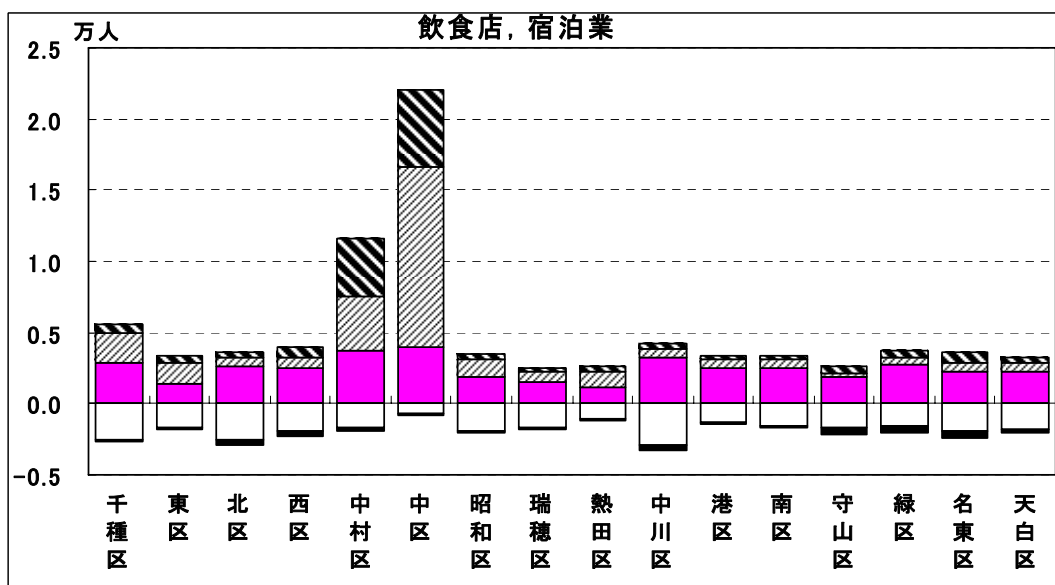
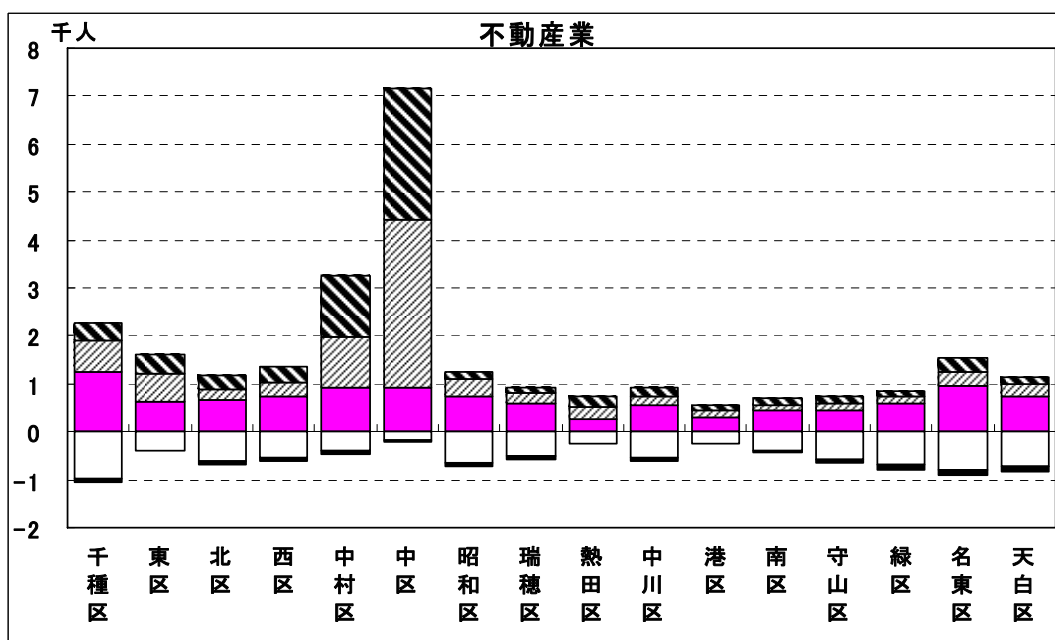
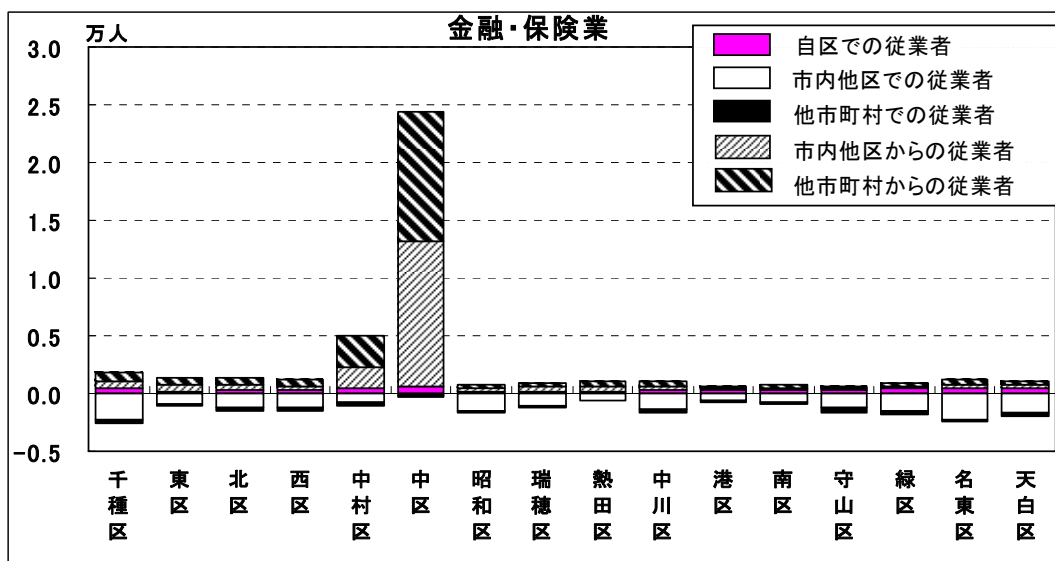
図5-3 常住地又は従業地による主な産業（大分類）別、区別15歳以上就業者数 II



付表5-6 常住地又は従業地による主な産業(大分類)別、区別15歳以上就業者数 Ⅲ

	常住地による15歳以上就業者数					従業地による15歳以上就業者数				
	総数	順位	自宅または 自区内で 従業	市内 他区 で従業	市 内 町 村 で従業	総数	順位	自宅または 自区内で 従業	市内 他区 に常住	市 内 町 村 に常住
金融・保険業										
名古屋市区	28,070	-	5,277	19,226	3,567	44,037	-	5,277	19,226	19,534
千種区	3,051	①	440	2,298	313	1,841	③	440	688	713
東区	1,242	⑫	169	926	147	1,303	⑤	169	591	543
北区	1,860	⑧	368	1,256	236	1,311	④	368	417	526
西区	1,774	⑨	280	1,254	240	1,257	⑥	280	332	645
中村区	1,518	⑩	501	814	203	4,930	②	501	1,847	2,582
中区	946	⑮	677	178	91	24,457	①	677	12,455	11,325
昭和区	1,862	⑦	171	1,519	172	787	⑬	171	340	276
瑞穂区	1,415	⑪	217	1,019	179	847	⑫	217	351	279
熱田区	789	⑯	116	564	109	1,003	⑩	116	544	343
中川区	1,960	⑤	356	1,342	262	1,079	⑨	356	300	423
港南区	997	⑭	239	651	107	669	⑮	239	218	212
南区	1,139	⑬	243	735	161	761	⑭	243	216	302
守山区	1,892	⑥	278	1,283	331	650	⑯	278	113	259
緑名東区	2,310	④	442	1,445	423	880	⑪	442	129	309
天白区	2,896	②	399	2,203	294	1,180	⑦	399	318	463
	2,419	③	381	1,739	299	1,082	⑧	381	367	334
不動産業										
名古屋市区	20,250	-	10,740	8,432	1,078	26,185	-	10,740	8,432	7,013
千種区	2,306	①	1,238	979	89	2,273	③	1,238	655	380
東区	1,027	⑬	617	379	31	1,629	④	617	595	417
北区	1,333	⑧	654	599	80	1,182	⑧	654	232	296
西区	1,343	⑦	729	537	77	1,347	⑥	729	300	318
中村区	1,395	⑥	937	400	58	3,245	②	937	1,025	1,283
中区	1,147	⑩	931	176	40	7,155	①	931	3,484	2,740
昭和区	1,459	④	745	643	71	1,238	⑦	745	351	142
瑞穂区	1,141	⑪	579	515	47	930	⑩	579	247	104
熱田区	532	⑯	273	238	21	742	⑬	273	262	207
中川区	1,184	⑨	562	557	65	908	⑪	562	191	155
港南区	560	⑮	294	244	22	562	⑯	294	151	117
南区	876	⑭	428	398	50	701	⑮	428	126	147
守山区	1,127	⑫	460	563	104	732	⑭	460	127	145
緑名東区	1,412	⑤	606	672	134	847	⑫	606	128	113
天白区	1,858	②	957	793	108	1,558	⑤	957	290	311
	1,550	③	730	739	81	1,136	⑨	730	268	138
飲食店、宿泊業										
名古屋市区	71,541	-	39,044	28,323	4,174	82,996	-	39,044	28,323	15,629
千種区	5,505	③	2,834	2,485	186	5,635	③	2,834	2,136	665
東区	3,178	⑮	1,411	1,691	76	3,370	⑪	1,411	1,427	532
北区	5,505	④	2,601	2,520	384	3,635	⑦	2,601	603	431
西区	4,790	⑦	2,495	1,968	327	3,991	⑤	2,495	734	762
中村区	5,632	②	3,754	1,673	205	11,591	②	3,754	3,754	4,083
中区	4,821	⑥	4,029	700	92	22,067	①	4,029	12,657	5,381
昭和区	3,907	⑬	1,833	1,954	120	3,488	⑨	1,833	1,289	366
瑞穂区	3,314	⑭	1,560	1,622	132	2,490	⑯	1,560	747	183
熱田区	2,319	⑯	1,151	1,081	87	2,678	⑭	1,151	1,115	412
中川区	6,541	①	3,202	2,954	385	4,212	④	3,202	686	324
港南区	4,010	⑪	2,516	1,327	167	3,389	⑩	2,516	650	223
南区	4,185	⑩	2,485	1,508	192	3,301	⑫	2,485	580	236
守山区	3,990	⑫	1,849	1,635	506	2,565	⑮	1,849	299	417
緑名東区	4,876	⑤	2,800	1,535	541	3,757	⑥	2,800	411	546
天白区	4,622	⑧	2,230	1,914	478	3,592	⑧	2,230	671	691
	4,346	⑨	2,294	1,756	296	3,235	⑬	2,294	564	377

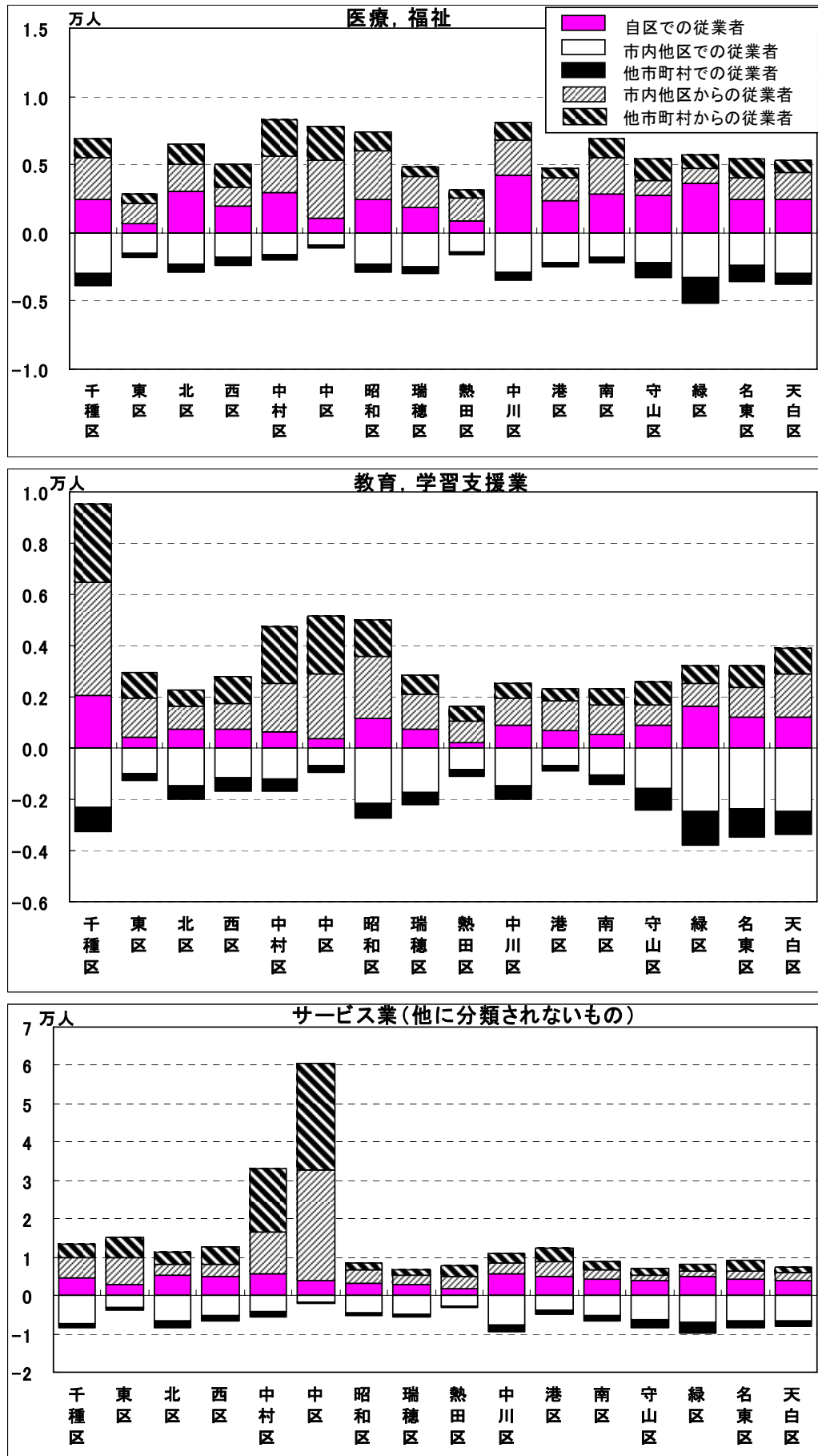
図5-3 常住地又は従業地による主な産業（大分類）別，区別15歳以上就業者数 Ⅲ



付表5-6 常住地又は従業地による主な産業(大分類)別、区別15歳以上就業者数 IV

	常住地による15歳以上就業者数					従業地による15歳以上就業者数				
	総数	順位	自宅または 自区内で 従業	市内 他区 で従業	市 町村 で従業	総数	順位	自宅または 自区内で 従業	市内 他区 に常住	市 町村 に常住
医療，福祉										
名古屋市区	83,496	-	38,229	34,893	10,374	94,180	-	38,229	34,893	21,058
千種区	6,289	④	2,458	2,974	857	6,869	⑥	2,458	3,067	1,344
東区	2,499	⑭	705	1,478	316	2,870	⑯	705	1,405	760
北区	5,969	⑦	3,065	2,323	581	6,530	⑦	3,065	1,998	1,467
西区	4,332	⑬	1,962	1,785	585	4,982	⑫	1,962	1,412	1,608
中村区	4,948	⑩	2,905	1,644	399	8,242	①	2,905	2,692	2,645
中区	2,198	⑯	1,100	873	225	7,788	③	1,100	4,259	2,429
昭和区	5,287	⑧	2,448	2,267	572	7,376	④	2,448	3,596	1,332
瑞穂区	4,824	⑪	1,889	2,479	456	4,782	⑬	1,889	2,277	616
熱田区	2,442	⑮	885	1,354	203	3,145	⑮	885	1,629	631
中川区	7,746	②	4,277	2,871	598	8,127	②	4,277	2,502	1,348
港南区	4,802	⑫	2,336	2,179	287	4,691	⑭	2,336	1,739	616
南区	4,975	⑨	2,817	1,818	340	6,932	⑤	2,817	2,683	1,432
守山区	6,043	⑥	2,767	2,149	1,127	5,461	⑨	2,767	1,115	1,579
緑名東区	8,756	①	3,632	3,277	1,847	5,746	⑧	3,632	1,071	1,043
天白区	6,086	⑤	2,483	2,425	1,178	5,370	⑩	2,483	1,570	1,317
	6,300	③	2,500	2,997	803	5,269	⑪	2,500	1,878	891
教育，学習支援業										
名古屋市区	48,326	-	14,114	24,761	9,451	56,832	-	14,114	24,761	17,957
千種区	5,288	②	2,049	2,333	906	9,509	①	2,049	4,423	3,037
東区	1,684	⑬	408	1,001	275	2,967	⑧	408	1,557	1,002
北区	2,754	⑨	750	1,472	532	2,268	⑮	750	892	626
西区	2,401	⑩	719	1,172	510	2,774	⑩	719	1,015	1,040
中村区	2,322	⑪	646	1,211	465	4,720	④	646	1,876	2,198
中区	1,311	⑯	385	683	243	5,133	②	385	2,485	2,263
昭和区	3,903	⑤	1,145	2,167	591	5,004	③	1,145	2,429	1,430
瑞穂区	2,899	⑦	712	1,720	467	2,825	⑨	712	1,392	721
熱田区	1,358	⑮	234	849	275	1,620	⑯	234	796	590
中川区	2,892	⑧	912	1,456	524	2,518	⑫	912	1,049	557
港南区	1,576	⑭	690	695	191	2,290	⑭	690	1,135	465
南区	1,954	⑫	535	1,077	342	2,310	⑬	535	1,143	632
守山区	3,324	⑥	881	1,590	853	2,572	⑪	881	814	877
緑名東区	5,409	①	1,615	2,496	1,298	3,218	⑦	1,615	929	674
天白区	4,651	③	1,197	2,362	1,092	3,221	⑥	1,197	1,180	844
	4,600	④	1,236	2,477	887	3,883	⑤	1,236	1,646	1,001
サービス業（他に分類されないもの）										
名古屋市区	172,230	-	67,151	84,007	21,072	233,110	-	67,151	84,007	81,952
千種区	13,255	④	4,784	7,199	1,272	13,403	④	4,784	5,042	3,577
東区	6,532	⑭	2,791	3,218	523	15,317	③	2,791	7,024	5,502
北区	13,924	③	5,437	6,815	1,672	11,334	⑦	5,437	2,790	3,107
西区	11,634	⑧	4,929	5,218	1,487	12,702	⑤	4,929	3,253	4,520
中村区	11,097	⑨	5,626	4,328	1,143	32,957	②	5,626	11,001	16,330
中区	6,071	⑮	3,861	1,792	418	60,487	①	3,861	28,893	27,733
昭和区	8,435	⑬	3,065	4,686	684	8,531	⑪	3,065	3,492	1,974
瑞穂区	8,439	⑫	2,824	4,858	757	6,646	⑯	2,824	2,477	1,345
熱田区	4,816	⑯	1,748	2,621	447	7,677	⑬	1,748	3,365	2,564
中川区	15,215	①	5,746	7,806	1,663	10,908	⑧	5,746	2,877	2,285
港南区	9,777	⑪	4,813	3,929	1,035	12,310	⑥	4,813	4,169	3,328
南区	10,781	⑩	4,279	5,195	1,307	8,978	⑩	4,279	2,601	2,098
守山区	12,447	⑥	4,041	6,308	2,098	7,154	⑮	4,041	1,249	1,864
緑名東区	14,802	②	4,960	6,853	2,989	7,987	⑫	4,960	1,345	1,682
天白区	12,807	⑤	4,254	6,589	1,964	9,190	⑨	4,254	2,247	2,689
	12,198	⑦	3,993	6,592	1,613	7,529	⑭	3,993	2,182	1,354

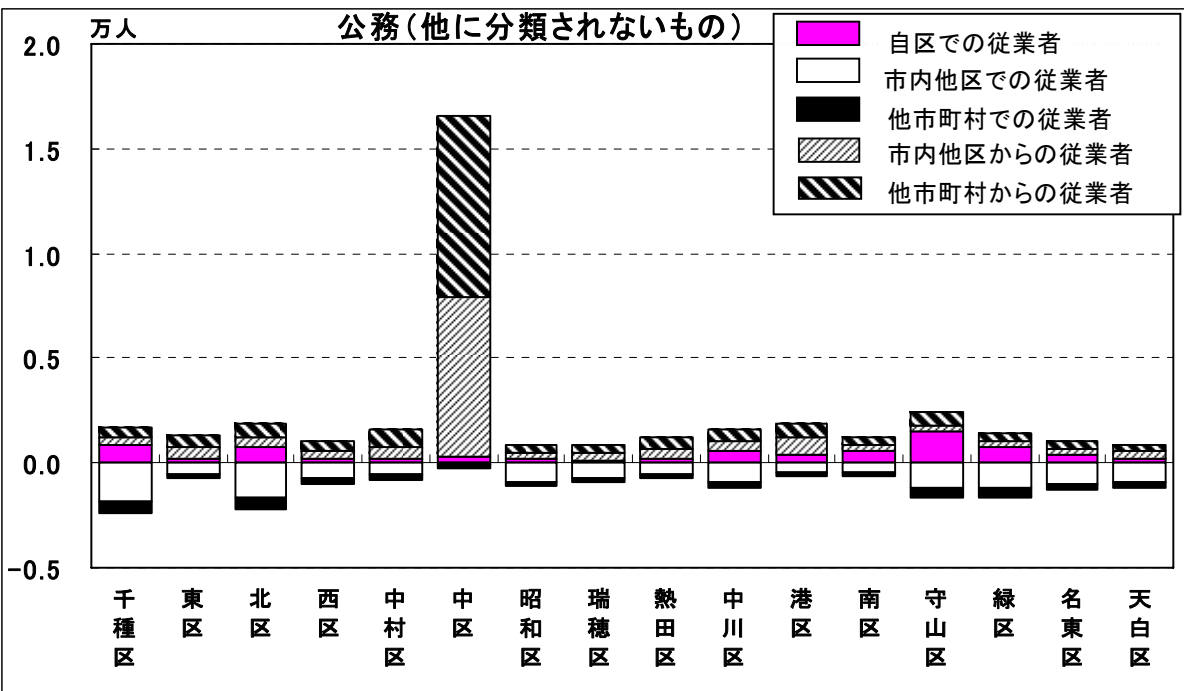
図5-3 常住地又は従業地による主な産業（大分類）別、区別15歳以上就業者数 IV



付表5-6 常住地又は従業地による主な産業(大分類)別, 区別15歳以上就業者数 V

	常住地による15歳以上就業者数					従業地による15歳以上就業者数				
	総数	順位	自宅または 自区内で 従業	市内 他区で 従業	他市 町村で 従業	総数	順位	自宅または 自区内で 従業	市内 他区に 常住	他市 町村に 常住
公務（他に分類されないもの）										
名古屋市中千種区	25,892	-	7,445	13,645	4,802	37,414	-	7,445	13,645	16,324
北區	3,165	②	812	1,827	526	1,673	⑤	812	369	492
西區	925	⑮	216	574	135	1,286	⑨	216	536	534
中村區	2,966	③	751	1,630	585	1,875	④	751	461	663
中區	1,225	⑨	218	712	295	1,087	⑫	218	359	510
昭和區	1,067	⑫	240	564	263	1,566	⑦	240	481	845
瑞穂區	489	⑯	265	115	109	16,587	①	265	7,609	8,713
熱田區	1,231	⑧	169	868	194	878	⑭	169	344	365
中川區	1,068	⑪	133	732	203	816	⑯	133	367	316
港區	983	⑭	218	563	202	1,253	⑩	218	446	589
南区	1,768	⑤	550	906	312	1,580	⑥	550	450	580
守山区	1,063	⑬	430	406	227	1,879	③	430	769	680
緑區	1,179	⑩	567	444	168	1,241	⑪	567	287	387
名東區	3,177	①	1,477	1,145	555	2,399	②	1,477	299	623
天白區	2,504	④	806	1,198	500	1,415	⑧	806	239	370
	1,708	⑥	383	1,046	279	1,005	⑬	383	299	323
	1,374	⑦	210	915	249	874	⑮	210	330	334

図5-3 常住地又は従業地による主な産業（大分類）別, 区別15歳以上就業者数 V



V-5 通学者は常住地ベースでは緑区が、通学地ベースでは千種区がそれぞれ3万人を超えトップ

各区分の通学者数（15歳未満の者を含む）を常住地及び通学地の区分別にみると、常住地ベースでは、緑区が唯一3万人を超えてトップとなっている。以下、中川区、天白区、名東区、守山区が2万人台で続き、最も少ない中区は5千人台となっている。

「常住する通学者」のうち、「自区での通学者」の割合が最も多いのは港区で、73.3%が自区に通学している。最も低いのは中区で58.8%となっている。

一方通学地ベースでは、千種区が唯一3万人を超えてトップとなっている。以下、天白区、昭和区、中村区と続き、最も少ない熱田区は1万人強となっている。

「市内他区からの通学者」が最も多いのは千種区で、唯一1万人を超えている。また、「他市町村からの通学者」については、千種区、中村区、昭和区の3区で1万人を超えている。

「常住する通学者」に対する「当地で就学する通学者」の比率が2倍を超えているのは中区及び東区で、以下千種区及び中村区が2倍弱で続いている。逆に緑区、中川区及び北区の3区では70%台となっている。

[付表5-7、図5-4]

付表5-7 常住地又は通学地による区別通学者数(15歳未満の者を含む)

通学者の区分	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区
常住する通学者 A<①+②+③>	19,661	7,591	19,055	15,915	14,194	5,762	15,327	12,867	7,052	27,017	19,153	16,980	20,198	30,653	23,208	23,926
①自区での通学者	13,837	4,865	13,003	11,019	10,055	3,386	9,361	8,604	4,545	19,443	14,041	12,083	14,246	21,761	15,533	17,112
15歳以上	4,767	967	1,852	1,655	2,703	848	3,430	1,859	740	2,586	2,101	2,228	1,954	2,849	2,425	4,560
15歳未満	9,070	3,898	11,151	9,364	7,352	2,538	5,931	6,745	3,805	16,857	11,940	9,855	12,292	18,912	13,108	12,552
Aを100とした①の比率	70.4	64.1	68.2	69.2	70.8	58.8	61.1	66.9	64.4	72.0	73.3	71.2	70.5	71.0	66.9	71.5
②市内他区への通学者	4,245	2,003	4,533	3,547	2,988	1,762	4,869	3,332	1,859	5,665	4,071	3,641	3,509	5,932	4,758	4,751
15歳以上	3,725	1,852	4,067	3,171	2,721	1,496	4,499	3,023	1,693	5,284	3,840	3,424	3,176	5,546	4,195	4,362
15歳未満	520	151	466	376	267	266	370	309	166	381	231	217	333	386	563	389
Aを100とした②の比率	21.6	26.4	23.8	22.3	21.1	30.6	31.8	25.9	26.4	21.0	21.3	21.4	17.4	19.4	20.5	19.9
③他市町村への通学者	1,579	723	1,519	1,349	1,151	614	1,097	931	648	1,909	1,041	1,256	2,443	2,960	2,917	2,063
15歳以上	1,511	693	1,478	1,294	1,113	587	1,029	907	621	1,827	1,007	1,222	2,376	2,855	2,812	1,976
15歳未満	68	30	41	55	38	27	68	24	27	82	34	34	67	105	105	87
Aを100とした③の比率	8.0	9.5	8.0	8.5	8.1	10.7	7.2	7.2	9.2	7.1	5.4	7.4	12.1	9.7	12.6	8.6
当地で就学する通学者 B<④+⑤>	38,941	18,309	14,899	15,748	27,660	14,306	27,874	17,719	10,225	21,048	15,566	16,946	18,614	23,413	19,857	28,357
Aを100としたBの比率	198.1	241.2	78.2	99.0	194.9	248.3	181.9	137.7	145.0	77.9	81.3	99.8	92.2	76.4	85.6	118.5
④市内他区からの通学者	12,429	7,684	1,030	2,091	6,040	3,731	8,070	5,256	2,440	999	908	2,268	1,507	959	2,136	3,917
15歳以上	11,017	5,593	990	2,028	5,860	3,575	7,500	5,025	2,341	927	803	2,185	1,364	937	2,067	3,862
15歳未満	1,412	2,091	40	63	180	156	570	231	99	72	105	83	143	22	69	55
Aを100とした④の比率	63.2	101.2	5.4	13.1	42.6	64.8	52.7	40.8	34.6	3.7	4.7	13.4	7.5	3.1	9.2	16.4
⑤他市町村からの通学者	12,675	5,760	866	2,638	11,565	7,189	10,443	3,859	3,240	606	617	2,595	2,861	693	2,188	7,328
15歳以上	11,955	4,775	843	2,588	11,503	7,147	10,049	3,771	3,194	601	601	2,583	2,786	687	2,114	7,307
15歳未満	720	985	23	50	62	42	394	88	46	5	16	12	75	6	74	21
Aを100とした⑤の比率	64.5	75.9	4.5	16.6	81.5	124.8	68.1	30.0	45.9	2.2	3.2	15.3	14.2	2.3	9.4	30.6

図5-4 常住地又は通学地による区別通学者数（15歳未満の者を含む）

